

# 樹木等維持管理業務委託共通仕様書

## 1 植物管理の目的

### (1) 植物管理の特質

植物管理は、剪定・病虫害防除・施肥・灌水等を通じ、植物の健全かつ均整のとれた生育を促し、植栽目標に近づける「育成管理」を基本とする。この点において、当初の機能・性能・価値を維持する「施設の維持管理」とは性格が異なることに留意すること。

### (2) 植栽目標

植栽の目標形は樹種・植栽場所など条件により様々であり、目標形を監督職員と協議し、確認した上で適切な管理を行わなければならない。

## 2 適用範囲

- (1) 樹木等維持管理業務委託共通仕様書（以下「共通仕様書」という。）は、市川市が発注する公園、緑地、施設および街路樹その他樹木等維持管理業務に係わる委託契約書（以下「契約書」という。）の内容について、必要な事項を定め、もって契約の適正な履行の確保を図るためのものである。
- (2) 契約図書は、相互に補完し合うものとし、契約書および設計図書のいずれかによって定められている事項は、契約の履行を拘束するものとする。
- (3) 特記仕様書、数量表および共通仕様書の間に相違がある場合、受託者は、監督職員に確認して指示を受けなければならない。
- (4) 受託者は、信義に従って誠実に業務を履行し、監督職員の指示がない限り業務を継続しなければならない。但し、契約書に定める作業の変更、中止を行う場合は、この限りではない。

## 3 用語の定義

共通仕様書に使用する用語の定義は、次の各項に定めるところによる。

- (1) 「委託者」とは、市川市をいう。
- (2) 「受託者」とは、業務の実施に関し、委託者と委託契約を締結した個人または会社その他の法人をいう。
- (3) 「検査職員」とは、業務の完了の検査にあたって、委託者が検査を行う者として定めた者をいう。
- (4) 「契約図書」とは、契約書および設計図書をいう。
- (5) 「仕様書」とは、共通仕様書および特記仕様書（これらにおいて明記されている適用すべき諸基準を含む。）を総称していう。
- (6) 「共通仕様書」とは、当該業務に共通する技術上の指示事項等を定める図書をいう。
- (7) 「特記仕様書」とは、共通仕様書を補足し、当該業務の実施に関する明細または特別な事項を定める図書をいう。
- (8) 「協力者」とは、受託者が業務の遂行にあたって、再委託する者をいう。
- (9) 「監督職員」とは、契約の履行についての受託者に対する指示、承諾または協議を行

う権限を有する者をいう。

## 4 業務担当に関する事項

### 4-1 業務責任者の適正な配置

- (1) 受託者は、その受託した業務の適正な作業を確保するため、当該作業現場に業務責任者を配置し、受託業務の管理および統括を行わなければならない。
- (2) 業務責任者は、当該受託者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者で、常時継続的に当該作業現場においてその職務に従事するものとする。
- (3) 業務責任者は、市民からの問い合わせや要望があった時は真摯に対応すること。また、受託業務外の内容についてはその内容を監督職員に連絡すること。

### 4-2 再委託

- (1) 受託者は、その受託した業務を一括して他人に行わせてはならない。
- (2) 受託者は、あらかじめ委託者の書面による承諾を得た場合に限り、当該業務の一部を再委託することができる。この場合において、受託者は、不必要な再委託を行ってはならない。
- (3) 受託者は再委託に付する場合には、次の各号に掲げる要件をすべて満たされなければならない。
  - ア) 受託者が再委託業務について「業務計画の作成」、「工程管理」、「出来形・品質管理」、「完了検査」、「安全管理」、「協力者への指導監督」等について主体的な役割を現場で果たすこと。
  - イ) 協力者が市川市の入札参加業者適格者名簿に登録された者である場合には、指名停止期間中でないこと。
  - ウ) 協力者は、再委託する業務の履行能力を有すること。

## 5 提出書類及び納品図書など

### 5-1 業務計画書

- (1) 受託者は、契約締結後14日以内かつ、業務開始までに計画工程表、作業方法、安全管理その他次の各号に掲げる事項を盛り込んだ業務計画書を監督職員に提出し、監督職員の承諾を得ること。尚、監督職員に不備を指摘された場合はただちに修正を行い、監督職員の承諾を得てから、業務に取り掛かること。
  - ア) 業務概要
  - イ) 計画工程表
  - ウ) 現場組織表（業務責任者、作業員名簿、業務に必要な資格の控え、施工体制台帳等）
  - エ) 使用機材、車両（車検証の控え等）
  - オ) 主要材料（MSDS等）
  - カ) 作業方法
  - キ) 施工管理計画（出来形管理、品質管理、写真管理等）
  - ク) 安全管理（安全訓練等の実施）
  - ケ) 緊急時の連絡体制（休日の連絡先、救急病院への案内図等）

- コ) 交通管理(作業帯図、交通規制帯図等)
  - サ) 環境対策
  - シ) 現場作業環境の整備
  - ス) その他当該業務に必要と認める事項
- (2) 受託者は業務計画書を遵守し、受託業務にあたらなければならない。

## 5-2 作業写真

- (1) 受託者は、千葉県写真管理基準に則って写真管理を行うこと。尚、夜間撮影においては高感度(ISO400以上)カメラにて撮影し、作業内容が分かるようにすること。
- (2) 受託者は、前項の作業写真について日々整理を行い監督職員から請求があった場合に、ただちに提示しなければならない。

## 5-3 納品図書

- (1) 受託者は、業務が完了したときは、納品図書として次に掲げる書類および完了届を委託期間満了日までに提出し、検査を受けなければならない。
  - ア) 出来高数量表(平面図、求積図等出来高の分かるものを添付すること)
  - イ) 実施工程表(計画工程表と比較できるもの)
  - ウ) 打ち合わせ記録簿(Eメール・口頭協議・指示も記録簿に残すこと)
  - エ) 作業報告書(作業内容、日時、天候、作業人数、使用機械、氏名等の分かるもの)
  - オ) 各種伝票の写し(主要材料、発生材等)および集計表
  - カ) 作業写真(作業前、作業後、作業中がはっきりとわかるもの。尚、写真に日付を写しこむこと)
  - キ) 安全教育等記録の写し
  - ク) 農薬使用記録簿の写し
  - ケ) その他当該業務に必要と認めた書類

## 6 業務上の注意事項

### 6-1 業務の協議・連絡

- (1) 監督職員との協議・記録
  - ア) 受託者は業務着手にあたり監督職員と良く話し合い、剪定の目的・目標・留意事項などを良く理解したうえで、作業計画を作成し、各々の作業を適切に行うこと。
  - イ) 協議した内容は、必ず打合せ記録簿に残すこと。特に、業務上の重要点や施行原則を変更する場合などは丁寧に記載すること。
- (2) 受託者は作業実施にあたり、週間予定表および実施報告書を週初めまでに監督職員に提出すること。
- (3) 受託者は週間予定表に則って作業を行い、予定の変更がある場合は事前に監督職員に連絡すること。
- (4) 作業中、以下のような問題・異常を発見した場合には監督職員に報告し、対応策を協議すること。
  - ・人、車等の通行箇所において、安全性に問題が生じる可能性がある場合(倒木、枝

折れ等)

- ・樹木、草本の異常（病虫害など）を発見した場合
- ・そのほか、樹木以外の異常（防犯・防災に関する異常など）を発見した場合。

## 6-2 土地への立入り

受託者は、当該業務を実施するため、国有地、公有地または私有地に立入る場合は、監督職員および関係者と十分な協議を行い、業務を円滑に履行するよう努めなければならない。尚、やむを得ない理由により現地への立入りが不可能となった場合には、ただちに監督職員へ報告し、指示を受けなければならない。

## 6-3 業務上の配慮事項

- (1) 受託者は、業務従事者の服装や行動について、施行場所の利用者および近隣住民に不快感を与えないように配慮するとともに、業務の実施にあたり、事前に近隣住民や利用者等に案内等の周知を図るものとする。
- (2) 受託者は、業務の実施に際しては、適切な環境対策を実施し、円滑な業務遂行に努めなければならない。

## 6-4 緊急時の連絡体制

受託者は、災害等が発生した場合および発生が予測される場合は、臨機の対応がとれるよう緊急時の連絡体制に基づいて、被害を最小限に食い止めるものとする。

## 6-5 廃棄物の処理

- (1) 業務で生じるによる発生材(剪定・刈込の枝葉、刈り取った草など)については一般廃棄物とし、適切に処理した旨を示した伝票を提出しなければならない。  
但し、特記事項のあるもの(草刈・芝刈における「刈りっぱなし、集草まで、運搬まで」など)はこの限りではない。
- (2) 業務で生じる発生材以外の塵芥については1箇所に収集・分別し、その処理については監督職員と協議すること。

# 7 業務上の義務・責務

## 7-1 安全等の確保

- (1) 受託者は業務の実施にあたり、作業着手前までに関連作業員を集めて適切な時間をかけて新規入場者教育および、当該業務に必要な安全衛生教育を行うこと。また、業務途中で新たに加わる作業員についても同様に新規入場者教育および安全衛生教育を行うこと。
- (2) 受託者は作業開始前に作業員全員を集めて、当日の作業内容による安全教育(KYK)等注意点を確認してから作業を行うこと。
- (3) 受託者は、業務の実施に際して適切な作業帯・交通規制帯の設置および交通誘導員を配置し、作業員の安全確保と共に付近住民、通行人および通行車両等第三者の安全確保に努めること。

- (4) 受託者は、業務の実施に際しては、労働安全衛生法その他関係法令に基づく措置を講じておくこと。
- (5) 受託者は、業務実施中の安全管理について、適時巡視を行って指導および監督に努めること。
- (6) 上記の安全教育等に関してはすべて記録に残し（日時、内容、参加者、状況写真等）、写しを納品図書と合わせて提出すること。

## 7-2 守秘義務

受託者は、業務の実施過程で知り得た秘密を第三者に漏らしてはならず、かつ、他の目的に使用してはならない。契約終了後も同様とする。

## 7-3 法令順守等

- (1) 本仕様書に定めのない業務上必要な軽易な事項については、関係法令等を遵守し、受託者の責任において処理するものとする。
- (2) 受託者は、その使用人とは適正な雇用契約を結び、労働関係法令を遵守しなければならない。
- (3) 業務の履行に当たっては、労働基準法その他関係法令を遵守しなければならない。
- (4) 道路上の作業になる場合は、作業に先立ち「道路使用許可証」を取得し許可条件を遵守すること。

## 8 損害賠償等

- (1) 受託者は、当該業務の実施に伴って受託者の責に帰すべき理由により第三者に損害を及ぼしたときは損害を賠償しなければならない。
- (2) 業務実施中に事故が起こったときは、ただちに関係機関に通報するとともに、受託者は自らの責任において処理するものとする。
- (3) 前項の場合において、受託者は、事故の経緯について、事故発生後ただちに監督職員に口頭連絡し、その後速やかに書面をもって経過報告すること。

## 9 その他

- (1) 委託者は受託者の業務履行状況を不適当と認めた場合は、その理由を明示し業務の改善を受託者に求めることができる。
- (2) 受託者は委託者より改善を求められた場合は原因追求を行って業務の改善を図り、原因・改善方法について委託者に改善報告書を提出し、承諾を得てから業務の再開をしなければならない。
- (3) 受託者は、委託者からの指示に対しては、迅速な処理を行うとともに、早急に結果を報告するものとする。
- (4) その他、本仕様書に定めのない事項及び疑義の生じた事項への対応については、千葉県土木工事共通仕様書「植栽・緑地管理編」を参考に監督職員と協議し、決定するものとする。

## 草花植栽等維持管理業務委託特記仕様書

この仕様書は、委託者が発注する下記の業務に関して、受託者が当該業務を履行するために必要な事項を定めるものとする。

### 1 件 名 草花植栽等維持管理業務委託

### 2 業 務 目 的

本業務は、公園内及び街路樹に設置された花壇において、一部ボランティア活動によるボランティアの育成・技術向上を図りつつ草花の維持管理を行い、「ガーデニング・シティいちかわ」の理念の下、良好な景観を保持することを目的とする。

### 3 委 託 場 所 市川市南八幡 2 丁目 20 番 2 号 外 25 箇所

委 託 場 所		所 在 地
<b>【公園】</b>		
1	第二庁舎	南八幡 2 丁目 20 番 2 号
2	桜見公園	八幡 6 丁目 35 番地先
3	南浜公園	日之出 2 番
4	旧江戸川堤防敷	押切 4～伊勢宿 1 番地先
<b>【街路樹】</b>		
5	国道 14 号	市川 2 丁目 21 番～新田 5 丁目 1 番地先
6	菅野 3・6・30	菅野 3 丁目 23 番地
7	市道 0126 号	東菅野 5 丁目 8 番～22 番地先
8	都市計画道路 3・4・18	八幡 1 丁目 23 番地先～南八幡 2 丁目 22 番地先
9	京成八幡駅前ロータリー	八幡 3 丁目 3 番地先
10	京成鬼越駅前ロータリー	北方 1 丁目 9 番地先
11	JR 市川駅 南口、ロータリー	市川 1 丁目 1 番地先
12	山崎市川ビル前	市川 1 丁目 9 番地
13	北総線北国分駅前	堀之内 3 丁目 21 番地先
14	JR 本八幡駅前	八幡 2 丁目 5 番、6 番、15 番、16 番地先
15	市道 0122 号	市川 1 丁目 23 番地先
16	市道 0220 号	南八幡 4 丁目 18 番地先
17	南八幡～東大和田プランター	南八幡 4 丁目 1 番～東大和田 2 丁目 4 番地先
18	南八幡ポケットパーク	南八幡 4 丁目 17 番地先
19	大和田ポケットパーク	南八幡 5 丁目 17 番地先
20	行徳駅前広場	行徳駅前 2 丁目 2～5 番地先

委 託 場 所		所 在 地
21	妙典駅前広場	妙典 4 丁目 1 番地先
22	南行徳駅前ロータリー	相之川 4 丁目 7 番地先
23	行徳駅前通り	行徳駅前 2 丁目 5～8 番地先
24	新行徳橋	河原 20 番地先
25	寺町通り	本行徳 5 番地先
26	フラワーロード	行徳駅前 2 丁目 12～14 番地先

#### ボランティア予定活動及び育成予定箇所

予 定 活 動 場 所	予 定 活 動 内 容	備 考
桜見公園	花壇植栽の一部	
菅野 3・6・30	花壇植栽の一部	
京成鬼越駅前ロータリー	花壇管理の一部	花壇植え替えなし
市道 0122 号	花壇植栽の一部	
南八幡ポケットパーク	花壇植栽の一部	
大和田ポケットパーク	花壇植栽の一部	
行徳駅前広場	花壇植栽の一部	
妙典駅前広場	花壇植栽の一部	

※上記以外の場所においても、ボランティアの活動場所及び活動内容が加わる場合があるので業務開始前に監督職員に確認すること。

#### 4 委 託 期 間 令和 6 年 6 月 3 日 ～ 令和 7 年 3 月 21 日

#### 5 業 務 内 容

##### ア) 業務内容・予定数量

○公園、街路樹等に設置された花壇やプランターの花の植え替え、街路樹として植栽されたバラの維持管理などを実施する。

※本委託業務の業務内容予定数量については、業務内容・予定数量一覧表（別紙 3）、各委託場所の数量及び回数については、参考数量表 1【公園・広場】（別紙 4）、参考数量表 2【街路樹】（別紙 5）及び、花壇管理工程表（案）（別紙 6）参照。

※実施時期が 4～5 月の作業については別途委託による作業とする。

##### イ) 実施条件

##### ○実施環境

・公園、街路樹の花壇、プランター及びバラの植栽された植込み地などであり、多くの市民の目に触れる箇所である。

- ・業務に必要な水については、公園内の水道施設が使用できるものとする。
- ・業務に使用する車両は、公園内に乗り入れができるものとする。

#### ○実施上の留意事項

- ・適宜巡回を行って「草花」「バラ」の状況を把握し、適切な病虫害防除及び灌水など必要な作業を行って花付きを良くすること。
- ・薬剤散布の頻度が多いため、ドリフト低減措置を徹底すること。
- ・ボランティア活動者に対して、作業手順などを教えるとともに、ボランティア活動者からの質疑に対しては、丁寧な教育及び指導を心がけること。
- ・別途公園緑地課が発注している「樹木総合維持管理業務委託」と作業が隣接しているため、作業時期などについて打合せを行うこと。
- ・公園の作業時間は原則として8時から17時までとする。
- ・街路樹の作業時間は昼間が9時から17時までとし、夜間は22時から5時までを想定している。
- ・委託期間中の不適切な管理（除草・灌水不足など）により草花・バラが枯損した場合は、受託者の負担で同等樹木の補植を行うこと。
- ・各作業による発生材は速やかに片付を行うこと。
- ・期ごとの現地確認において、各種剪定、刈込において不備が認められた場合は、受託者の責任において不備を解消すること。
- ・剪定作業の際、樹木に鳥の巣がある場合には、卵及び雛の有無を確認し、取扱いについて監督職員と協議（原則監督職員立会の下撤去）すること。

## 6 業務担当に関する事項

### ア) 業務責任者の資格

- ・業務責任者は「1級または2級造園施工管理技士」とする。

### イ) 配置資格者の身分

- ・「1級又は2級造園施工管理技士」、「1級又は2級造園技能士」または「街路樹剪定士」、「千葉県農薬管理指導士」の資格を有する者は、受託者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者とする。

## 7 実施方法

### ■ 花壇管理

公園緑地などの花壇を含む植栽環境について、植替などの措置を行うことにより、美観性の向上などを目的として行う。

#### ○ 花壇植栽【公園・街路樹】

- ア) 既存の床土を30 cm程度掘り起こして耕転を行い、ゴロ土やゴミを取除くこと。
- イ) 基本は地拵え時に発酵鶏糞 200 g / m<sup>2</sup>の混合とするが、土の状況を考慮しより適した有機肥料及び施肥量を監督職員と十分に協議して決定すること。
- ウ) 植え付け時期や種類などについては標準花表を基本とするが、現地の状況及び市場供給状況をみて監督職員と十分に協議し決定すること。



- イ) 基本は地拵え時に発酵鶏糞 200 g /㎡の混合とするが、土の状況を考慮しより適した有機肥料及び施肥量を監督職員と十分に協議して決定すること。
- ウ) 植え付け時期や種類などについては標準花表を基本とするが、現地の状況及び市場供給状況をみて監督職員と十分に協議し決定すること。
- エ) 支給材については監督職員と支給時期を調整し、速やかに交換できるようにすること。
- オ) 配色については同系色の色をまとめること。また、花苗は発育良好で病虫害に侵されていないものとし、あらかじめ植出しに耐えられるよう栽培され、細根が多く発生しており、かつ徒長していない整一な形姿のものとする。
- カ) 既存の花の撤去に合わせて材料搬入及び植え付けを行い、十分な灌水を行って活着に努めること。なお、異常気象などにより既存の花が交換予定日前に枯れたり傷んだりした場合は、撤去について監督職員と協議して決定すること。
- キ) 撤去した既存の草花や作業による発生材は一般廃棄物とし、適切に処理した旨を示した伝票を提出しなければならない。
- ク) 灌水後に花の浮き上がりが見られた時は植え直しを行うこと。
- ケ) 1 か月以内に枯死した場合は受託者の負担で植え直しを行うこと。これを確認するため、植え付けから 1 か月後に活着確認を行い写真により記録、報告するものとする。ただし、支給材については対象外とする。

#### ○ 花壇植栽補助【公園・街路樹】

- ア) ガーデニング・シティいちかわ事業の趣旨に賛同していただいているボランティア作業員の方々が、花壇に植付けを行う際の補助作業（配置・植え方指導など）に加えて、作業前作業後の補完作業（地拵え・灌水・処理など）を行うものとする。
- イ) 既存の床土を 30 cm 程度掘り起こして耕転を行い、ゴロ土やゴミを取除くこと。
- ウ) 基本は地拵え時に発酵鶏糞 200 g /㎡の混合とするが、土の状況を考慮しより適した有機肥料及び施肥量を監督職員と十分に協議して決定すること。
- エ) 植え付け時期や種類などについては標準花表を基本とするが、現地の状況及び市場供給状況をみて監督職員と十分に協議し決定すること。
- オ) 配色については同系色の色をまとめること。また、花苗は発育良好で病虫害に侵されていないものとし、あらかじめ植出しに耐えられるよう栽培され、細根が多く発生しており、かつ徒長していない整一な形姿のものとする。
- カ) 既存の花の撤去に合わせて材料搬入及び植え付けを行い、十分な灌水を行って活着に努めること。なお、異常気象などにより既存の花が交換予定日前に枯れたり傷んだりした場合は、撤去について監督職員と協議して決定すること。
- キ) 灌水後に花の浮き上がりが見られた時は、受託者が植え直しを行うこと。
- ク) 1 か月以内に枯死した場合は受託者の負担で植え直しを行うこと。これを確認するため、植え付けから 1 か月後に活着確認を行い写真により記録、報告するものとする。ただし、支給材については対象外とする。

○ フラワータワー植栽【街路樹】

- ア) 植え付け時期や種類などについては標準花表を基本とするが、現地の状況及び市場供給状況をみて監督職員と十分に協議し決定すること。
- イ) 支給材については監督職員と支給時期を調整し、速やかに交換できるようにすること。
- ウ) 配色については同系色の色をまとめること。また、花苗は発育良好で病虫害に侵されていないものとし、あらかじめ植出しに耐えられるよう栽培され、細根が多く発生しており、かつ徒長していない整一な形姿のものとする。
- エ) 既存の花の撤去に合わせて材料搬入及び植え付けを行うこと。なお、異常気象などにより既存の花が交換予定日前に枯れたり傷んだりした場合は、撤去について監督職員と協議して決定すること。
- オ) 植え付けに際しては根鉢を崩さないように注意しながらビニールポットから花苗を取り出し、フラワータワー用スポンジを巻きつけて、花苗と高さをそろえてケースにセットすること。
- カ) ケースを壊さないよう注意しながらフラワータワーにセットし、自動灌水装置を操作して十分な給水を行い活着に努めること。
- キ) 1か月以内に枯死した場合は受託者の負担で植え直しを行うこと。これを確認するため、植え付けから1か月後に活着確認を行い写真により記録、報告するものとする。ただし、支給材については対象外とする。

・フラワータワー自動灌水装置稼働時間

期 間	灌水開始時間	備 考
3月1日～6月30日	6:00、18:00	
7月1日～9月30日	5:00、12:00、19:00	
10月1日～11月30日	6:00、18:00	
12月1日～2月末日	7:00	

※自動灌水装置は毎日稼働し、灌水開始時間は委託者により変更する。

○ プランター植栽【公園・街路樹】

- ア) 基本は地拵え時に発酵鶏糞 200 g / m<sup>2</sup>の混合とするが、土の状況を考慮しより適した有機肥料及び施肥量を監督職員と十分に協議して決定すること。
- イ) 植え付け時期や種類などについては標準花表を基本とするが、現地の状況及び市場供給状況をみて監督職員と十分に協議し決定すること。
- ウ) 配色については同系色の色をまとめること。また、花苗は発育良好で病虫害に侵されていないものとし、あらかじめ植出しに耐えられるよう栽培され、細根が多く発生しており、かつ徒長していない整一な形姿のものとする。
- エ) 原則として既存の花の撤去に合わせて材料搬入及び植え付けを行い、十分な灌水を行って活着に努めること。なお、異常気象などにより既存の花が交換予定日前に枯れたり傷んだりした場合は、撤去について監督職員と協議して決定すること。

オ) 灌水後に花の浮き上がりが見られた時は植え直しを行うこと。

カ) 1 か月以内に枯死した場合は受託者の負担で植え直しを行うこと。これを確認するため、植え付けから 1 か月後に活着確認を行い写真により記録、報告するものとする。ただし、支給材については対象外とする。

・標準花（参考）

植え付け時期	種 類	鉢 径	基 本 色
6 月頃	ペチュニア	10.5 cm鉢	赤、ピンク系
	マリーゴールド	10.5 cm鉢	黄系
10 月頃	パンジー	10.5 cm鉢	黄系
	ノースポール	10.5 cm鉢	白
2 月頃	プリムラポリアンサ	10.5 cm鉢	赤、ピンク、黄系
	アネモネ	10.5 cm鉢	赤、ピンク、白系

植え付け時	種 類	鉢 径	基 本 色
適期	ガザニアクィーン	9 cm鉢	黄、オレンジ
	イワダレソウ	9 cm鉢	ピンク、白
	シバザクラ	3 芽立 9 cm鉢	ピンク、白
	アシュガ	9 cm鉢	ピンク、青
	ガザニア	9 cm鉢	赤、オレンジ、黄

○ 花殻取り【公園・街路樹】

花が咲き終わった後は速やかに、花殻と枝を一緒に取除いて美観の維持及び次の芽の伸長を促すこと。

○ 表土鋤取り【公園・街路樹】

ア) 植栽地面が周囲の縁石などより高く、灌水が十分に行えない箇所については、監督職員と現地確認及び協議を行い、花の撤去後に縁石などより植栽地面が 30 mm 程度低くなるよう鋤取りを行うこと。

イ) 鋤取りに際して、周囲の縁石・舗装面を傷めたり汚したりしないよう養生を行うこと。

ウ) 鋤取った土は監督職員の指示する場所（塩浜 4 丁目緑地）に運搬し、敷き均しを行うこと。

○ 表土入れ替え【公園・街路樹】

ア) ゴミ、排気ガスなどの油などで花壇が汚れた場合は監督職員と現地確認及び協議を行い、植栽地面より 330 mm 程度鋤取りを行うこと。

イ) 鋤取りに際して、周囲の縁石・舗装面を傷めたり汚したりしないよう養生を行

うこと。

ウ) 鋤取った土は監督職員の指示する場所（塩浜 4 丁目緑地）に運搬し、敷き均しを行うこと。

エ) 畑土（8 割）とバーク堆肥（2 割）を混合し、鋤取った箇所に投入すること。なお、仕上がり高さは縁石などより 30 mm 程度低くすること。

オ) 投入に際して、周囲の縁石・舗装面を傷めたり汚したりしないよう養生を行うこと。

#### ○ 防草シート設置【公園・街路樹】

ア) 防草シートの材質についてはポリプロピレン・4 層спанボンド不織布（厚さ 0.64 mm）グリーン同等品以上とすること。

イ) 設置面の整正を行って不陸を無くすること。

ウ) ジョイント部より雑草が生えないように、10 cm 程度重ね合わせること。

エ) 端部は構造物（縁石など）上に 10 cm 程度重ねて、端部より雑草が生えないようにすること。なお、構造物と防草シートは接着剤などを用いて固定すること。

オ) 防草シートが浮き上がらないように、4~6 か所/m<sup>2</sup>程度ワッシャー・固定ピンを用いて固定すること。

カ) 草花を植え付ける箇所の切込みについては、必要最低限の大きさとしすること。

キ) 花の周囲の切り込みはテープなどを用いて、雑草が生えないよう固定すること。

#### ○ スポンジ交換【街路樹】

ア) フラワータワーの花の交換時に傷んだスポンジの交換を合わせて行うこと。

イ) スポンジの材質、色については既存のものと同等品以上とすること。

ウ) 交換したスポンジについては適切に処分すること。

### ■ バラ管理【街路樹】

街路のバラに関し適切な措置を行うことによりバラの生育を良好に保ち、美観性の向上に供することを目的とする。

#### <共通事項>

花壇管理工程表（案）（別紙 5）を基本に、施工時期、施工範囲について監督職員と協議して決定すること。

#### ○ 剪定

##### ア) 夏期剪定

- ・ 花の咲いた枝については軽く切り戻しを行うこと。
- ・ 目が伸びている枝については、秋に花を咲かせるために切ること。
- ・ 柔らかい新芽については鋏を使用せず、手で摘み取ること。
- ・ 柔らかい枝と硬い枝をバランスよく残すこと。

##### イ) 冬期剪定

- ・ 高さについては、その後の 1 年間の基本的樹形になるため、監督職員と協議し

決定すること。

- ・成長が止まった枝は切り落とすこと。
- ・手前は低く後ろは高くして立体感を出すこと。
- ・新しいシュートは深く、充実したシュートは浅く切ること。
- ・芽を残しながらも、夏期よりは強めに剪定すること。

## ○ 整枝誘引

### ア) 夏期つるバラ整枝誘引

- ・成長したつるをアーチにはジグザグに、ポールには巻きつけるように誘引を行うこと。また、誘引後にバランスが取れるように支障枝の剪定を行うこと。

### イ) 冬期つるバラ整枝誘引

- ・結束を取除いて、つるバラの枝を傷めないように注意しながらアーチ、ポールからつるバラの取り外しを行うこと。
- ・取り外した枝の花芽に注意しながら、ついている葉を取除くこと。
- ・枯れた枝、古くて細い枝、途中で折れた枝、及び傷ついた枝の剪定を行うこと。
- ・剪定後、つるをアーチにはジグザグに、ポールには巻きつけるように誘引を行うこと。また、誘引後にバランスが取れるように支障枝の剪定を行うこと。

## ○ バラ花殻取り

- ・花が咲き終わった後は速やかに、花殻と枝を一緒に取除いて美観の維持及び次の芽の伸長を促すこと。

## ○ 施肥

### ア) 施肥A

- ・春から秋までの成長に対し、肥料切れを起こさないように与える時期を決定すること。
- ・原則として肥料の種類は有機肥料とし、バラの生育状況により「窒素」「リン酸」「カリ」の配合比率について監督職員と十分に協議を行い、種類及び施肥量を決定すること。

### イ) 施肥E

- ・液体肥料の種類について、監督職員と十分に協議し決定すること。
- ・原則として施肥量は 10/㎡を標準量とするが、バラの生育状況を考慮しより適した肥料を選定するとともに、施肥量についても十分に監督職員と協議して決定すること。
- ・肥料を適正な希釈倍率にした後、バラに直接かからないよう十分に注意しながら、地表面に均一に散布すること。

## ■ 樹木剪定

---

### <共通事項>

- ア) 資格者の配置……作業中は「1級または2級造園技能士」若しくは「街路樹剪定

士」を配置し、適切な指導管理の下作業を行うこと。

イ) 樹木剪定の目的……剪定は樹形の骨格づくり、樹冠の整正、こみすぎによる病虫害及び枯損枝の発生防止などを目的とする。

ウ) 協議と記録

- ・樹木剪定着手にあたり、受託者は監督職員と良く話し合い、剪定の目的・目標・留意事項などを良く理解したうえで、各々の作業を適切に行うこと。
- ・協議した内容は、必ず打合せ記録簿に残すこと。特に施行原則（Ex. ぶつ切り、芯止めの禁止）を変更する場合や業務上の重要点は丁寧に記載すること。

エ) 剪定方法は、それぞれの樹種、樹形に応じて、最も適切な方法（枝すかし、切詰め、枝抜き、切返し、枝おろしなど）によって行うこと。

オ) 見本切り

- ・作業の始めには見本切りを行い、監督職員の承諾を得てから作業を行うこと。実施場所が複数ある場合は、監督職員と協議する。また、剪定期間が異なるときは、改めて見本切りを行うこと。

カ) 樹木の樹姿及び仕立て方

- ・樹木の樹姿及び仕立て方は、自然形仕立て（公園）及び矯正型自然樹形（街路樹）を原則とする。
- ・優勢な頂部の枝葉を間引き、下方の枝葉を永く健全に保つため、枝葉密度のバランスは樹冠を大きく三区分した上方枝、中間枝、下方枝でそれぞれ残す枝の割合は1:2:3を目安とすること。（街路樹）
- ・特に必要と認められる場合を除き、見通しなどを考慮するとともに、通風、採光、通行などにおいて障害となる枝は除去すること。
- ・樹木の上方や南側の樹勢が盛んな部分は強く、下方や北側の樹勢が弱い部分は弱く剪定すること。

キ) 剪定作業上の留意事項

- ・ぶつ切りは原則として行わない。やむを得ずぶつ切りを行う場合には監督職員と十分に協議を行うこと。
- ・太枝については二段伐りを行うこと。なお、必要に応じて、吊り切りなどの安全対策を施すこと。
- ・樹形に応じて芯止めが必要な場合は、監督職員と協議して決定すること。
- ・桜については直径2 cm以上、その他の樹木についても直径5 cm以上の切り口については、癒合剤を塗り樹木の養生を行うこと。

ク) 敷地境界の離隔、安全性などの確保のため、以下を原則とする。

- ・官民境界沿いの樹木については民地に越境しない様に、官民境界から1m以上離して剪定すること。
- ・道路沿いの樹木及び街路樹については、車道上4.5m、歩道上2.5mの建築限界を守ること。ただし、樹高が低い場合は監督職員との協議を行って、剪定量を決定すること。
- ・広場など人の立ち入りができる場所は、地盤面から2m以下の下枝を切り戻し、通行に支障を生じないようにすること。

- ・遊器具の安全領域内に侵入している枝は、根元より除去すること。
  - ・交通への視覚障害（視距、信号機・標識の視認）、死角の要因となる枝葉は除去し、見通しを確保する。
- ケ）不要になった棕櫚縄・幹巻材など及び、不用意に取り付けられた鉄線などは取り除くこと。
- コ）作業中、以下のような問題を発見した場合には監督職員に報告し、対応策を協議すること。
- ・人、車などの通行箇所において、倒木・枝折れなど安全性に問題が生じる可能性がある場合
  - ・病虫害を発見した場合
- サ）作業にあたっては、以下のような配慮を行い安全確保に努めること。
- ・作業にあたっては人、車などの通行場所の安全確保を確実に言い、事故を防ぐこと。
  - ・高所での作業は、原則としてフルハーネス型とするが、着用者が墜落時に地面に到達するおそれのある場合（高さが 6.75m 以下）は、胴ベルト型（1 本つり）の墜落制止用器具を着用し、安全対策を十分に行うこと。
- シ）以下のような作業を行う際には、監督職員と協議し、周辺住民や利用者に対して事前に作業の内容、作業日時などについて「看板」などにて十分周知すること。
- ・公園等におけるシンボルツリーのような主要な樹木の剪定を行う場合
  - ・やむを得ずぶつ切りや強剪定等の樹木の容姿を著しく損なうような剪定を行う場合
  - ・公園等の広範囲の樹木について大規模な剪定を行う場合
- 高木基本剪定、マツ基本剪定【公園】
- ア）樹形の骨格をつくることを目的とする。
- イ）剪定時期は、原則として 10 月以降とする。ただし、夏期の実施については、十分に監督職員と協議して決定すること。
- ウ）原則として極寒時は、暖地性樹木の剪定は避けること。
- 高木軽剪定【公園】
- ア）樹冠の整正及び枝の込みすぎによる枯損枝の発生防止を目的とする。
- イ）切詰め、枝すかし（枝抜き）などを主体とし、全体として枝葉量を減少させて台風による転倒対策を行いつつ、外輪部には葉を残して日陰をつくること。
- 夏期剪定【街路樹】
- ア）樹冠の整正及び枝の込みすぎによる枯損枝の発生防止及び、台風などの強風による転倒防止を目的とする。
- イ）落葉樹の剪定時期は、原則として 7 月下旬から 9 月上旬までを標準とする。
- ウ）常緑樹の剪定時期は、原則として新梢の成長が停止する 5 月下旬から 6 月、または 9 月から 10 月までを標準とすること。

エ) 切詰め、枝すかし（枝抜き）などを主体とし、全体として枝葉量を減少させて台風による転倒対策を行いつつ、外輪部には葉を残して日陰をつくること。

○ 冬期剪定【街路樹】

ア) 樹形の骨格をつくることを目的とする。

イ) 原則として剪定時期は、12月上旬から3月下旬までを標準とすること。

ウ) 原則として極寒時は、暖地性樹木の強剪定は避けること。

○ 中木剪定【公園・街路樹】

樹形の骨格をつくることを目的とする。

○ 寄植、生垣刈込【公園・街路樹】

ア) 樹木の特性に応じて適切な時期及び刈込量などを十分に監督職員と協議し、決定すること。

- ・花卉類は、花芽の分化時期と着生位置に留意し刈込を行うこと。

イ) 敷地境界・施設からの離隔など

- ・官民境界沿いの樹木については民地に越境しない様に、官民境界から 50 cm 以上離して刈込むこと。

- ・車道・歩道に面した部分は、境界から 10 cm 程度公園側にて刈込むこと。また、刈込高さは、特に目隠しとして必要と認められる場合を除き、地際からおおむね 1m 以下の高さとし、防犯上周囲から公園内が見通せるようにすること。なお、交差点に面したコーナー部分は車両運転手の見通しを確保するため、角から 5m 程度は車道から 80 cm を超えないように刈込むこと。

- ・公園及び敷地内の通路に面した部分は、植樹ブロックの内側にて刈込みを行い、通路幅を確保すること。

- ・原則としてベンチ周辺（おおむね 50 cm 程度）及び、遊具の安全領域内に樹木が越境しないよう刈込を行うこと。

ウ) 仕立て方の留意点

- ・枝の込み合っている部分は中透かしを行うこと。

- ・列植ものは高さ・幅の通りを通すこと。

- ・刈込面に枝の切口（直径 1 cm 程度以上）があるとき及び、切口を傷めた場合は切り戻しを行うこと。

- ・生垣刈込は 1 度で刈込まないで、数回の刈込を通して徐々に刈込原型に仕立てること。特に、ヒノキやサワラのように不定芽の発生しにくいものは注意深く行うこと。

- ・生垣刈込の上幅は下幅よりも狭くすること。（おおむね 3～5 厘勾配程度）

- ・生垣及び列植部において枝葉の疎放な部分は、必要に応じて疎密をなくすように枝葉の誘引を行うこと。

エ) 管理目標にはない植物の除去

- ・刈込範囲内に、実生の木がある場合は根元より除去を行うこと。



- ・つる性植物が樹木に絡まっている時は除去すること。

#### ○ 藤棚剪定【公園】

- ア) 樹木の特性に応じて適切な時期及び刈込量などを、十分に監督職員と協議し決定すること。
- イ) 夏期剪定は花後の5月下旬から7月上旬に軽剪定、冬期剪定は12月から2月の落葉時期に基本剪定を目安に行うこと。
- ウ) 仕立て方の留意点
  - ・藤棚の枠からはみ出ている枝、枯れ枝、病虫害枝、危険枝、障害枝、弱小枝、徒長枝の剪定を行うこと。
  - ・つるの込み合っている部分は中透かしを行うこと。
  - ・花芽を7~8芽残して切り落とすこと。
  - ・葉芽はできるだけ少なくして、開花時の花を隠さないようにすること。
  - ・剪定後、つるの成長にむらがあるときは誘引を行って、藤棚全体につるがはうようにすること。

#### ○ 支障枝剪定【公園・街路樹】

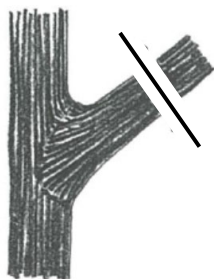
- ア) 対象は、信号・標識などの視認に支障となっている枝、民地に越境している枝、台風、豪雪による枝折れ及び、枯れ枝などとし、必ず根元から剪定すること。なお、剪定した箇所については、その後1年間程度支障とならないようにすること。
- イ) 原則として支障枝は1本の樹木に対し、3枝までとする。

<剪定 参考図>

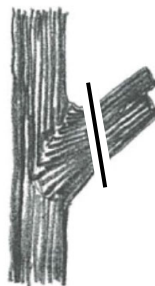
【ぶつ切りの禁止】

枝の途中でぶつ切りするのではなく、枝の分岐部の根元（ブランチカラー（枝の襟））を傷つけない位置）で剪定すること

×



○

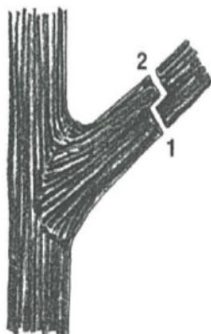


【太枝の剪定】

一度に大枝を切ると、枝の重さでつけ根から裂ける



1に切り込みを入れて枝の裂けを防ぎ、2にノコギリを入れて、枝先を切り落とす



「枝の襟（ブランチカラー）」を傷つけない位置3で軽くなった残りの枝を切り落とす

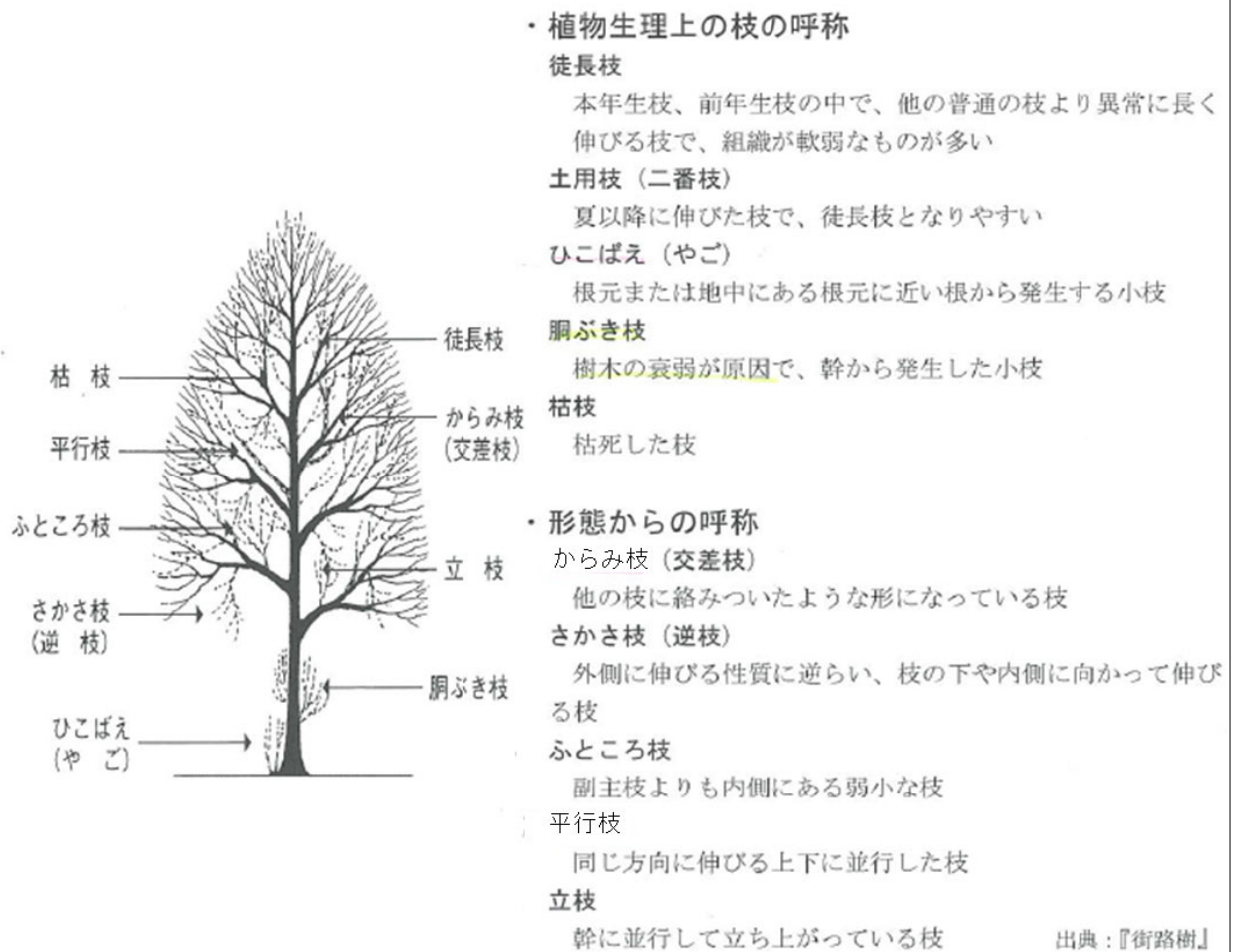


出典：『街路樹』

出典：（一社）日本造園建設業協会「街路樹剪定ハンドブック」 26 p 図 2-8

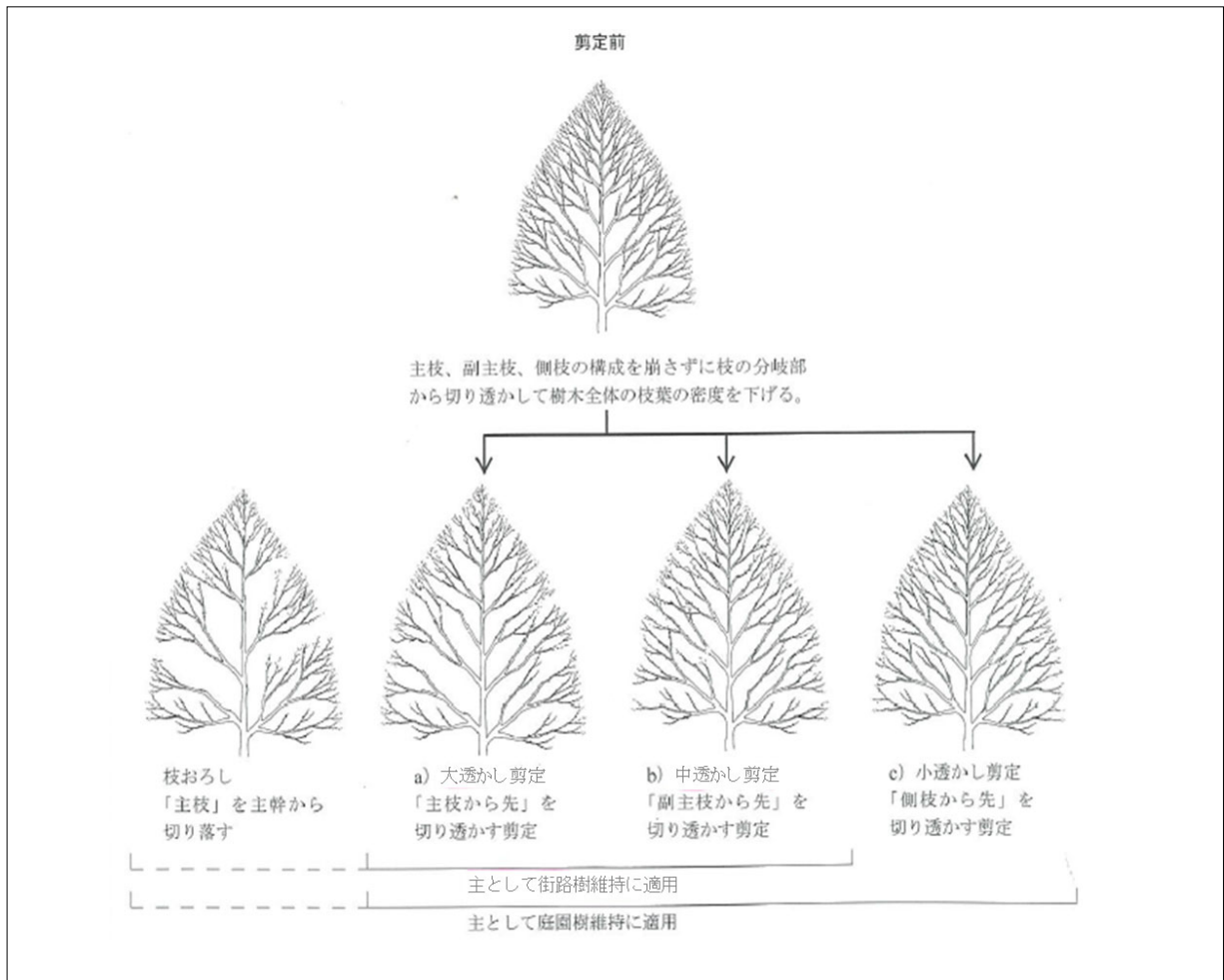
## 【主な不要枝】

- 徒長枝：当年生枝、前年生枝の中で、他の枝より異常に長く伸びる枝。
- 土用枝：春の成長が停止した後、夏以降に再び伸びる枝。徒長枝になりやすい。
- ひこばえ：根元、または地中にある根元に近い根から発生する枝。別名やご。
- 胴吹き枝：樹木の衰弱などが原因で、幹から多数発生する小枝。
- からみ枝：他の枝に絡まるように伸びる枝。
- さかさ枝：樹木特有の性質に逆らって下方や樹冠内部に伸びる枝。
- ふところ枝：樹冠の内部で伸びる弱小な枝。
- 平行枝：同じ方向に近接して伸びる枝。
- 立枝：幹に平行して立ち上がって上に伸びる枝。



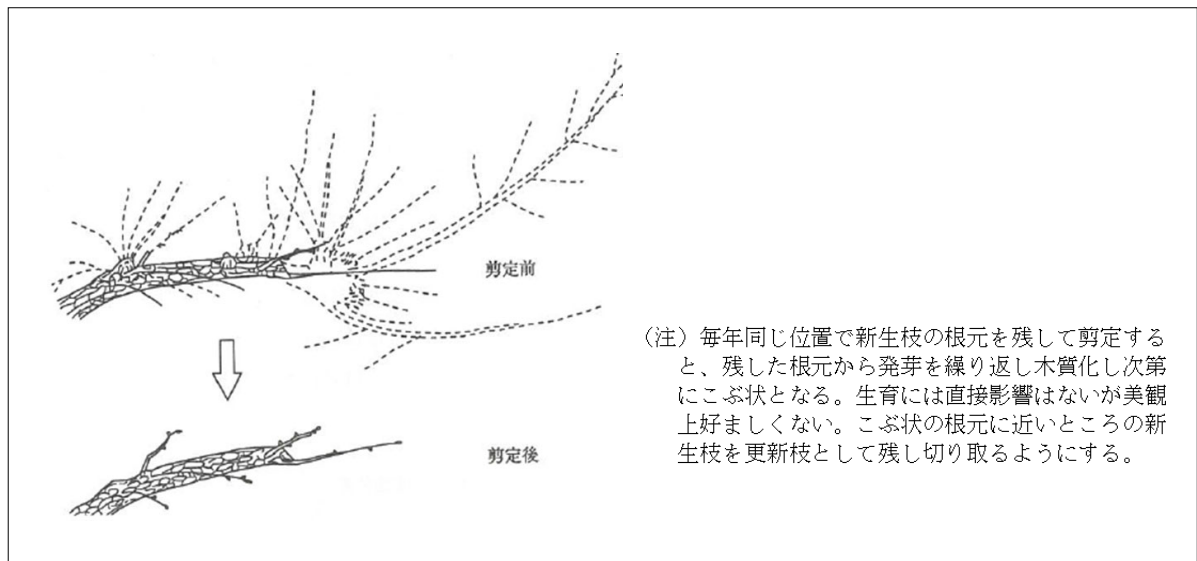
出典：（一社）日本造園建設業協会「街路樹剪定ハンドブック」 21 p 図 2-3

## 【枝抜き剪定】



出典：（一社）日本造園建設業協会「街路樹剪定ハンドブック」22 p 図 2-4

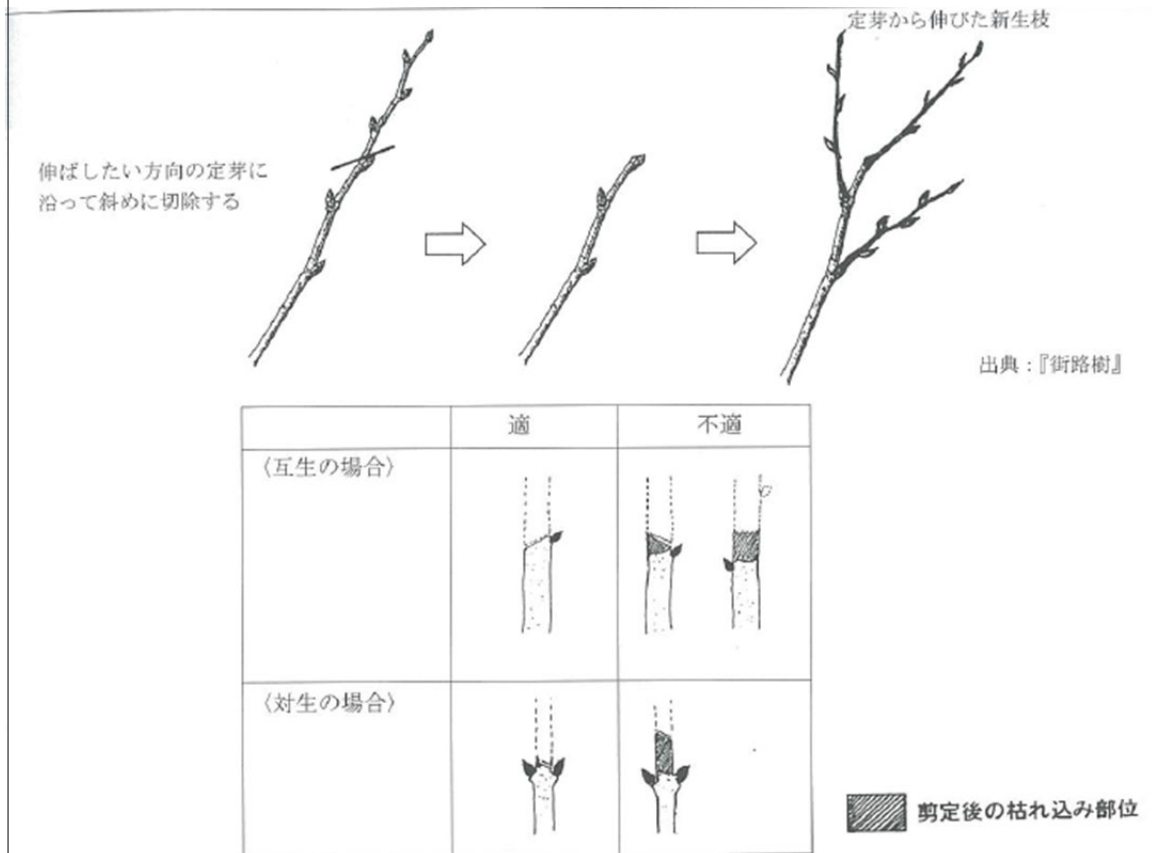
## 【切返し剪定（こぶ状枝）】



出典：（一財）経済調査会「緑化植栽マニュアル 計画・設計から施工管理まで」  
392 p 図 7-12 より

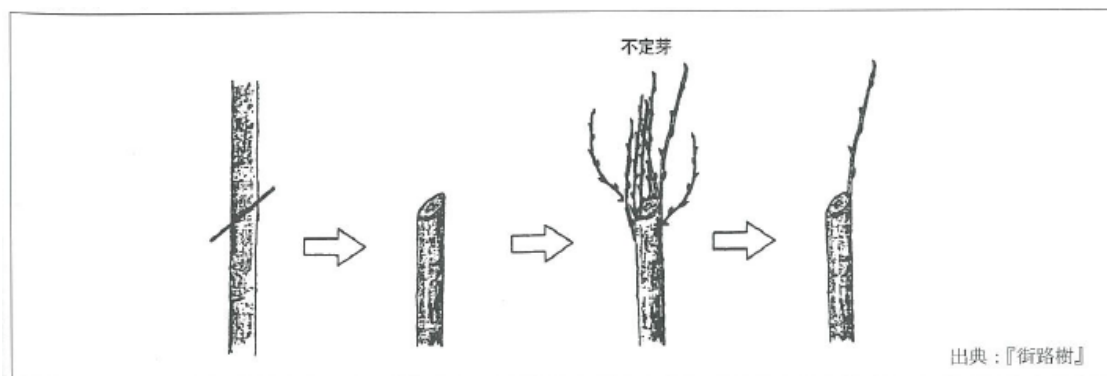
## 【切詰剪定】

### (定芽がある若い枝の切り詰め)



出典：（一社）日本造園建設業協会「街路樹剪定ハンドブック」27 p 図 2-9-①

### (定芽のない古い枝の切り詰め)



出典：（一社）日本造園建設業協会「街路樹剪定ハンドブック」図 2-9-②

## ■ 支障木処理

---

### <共通事項>

ア) 支障木処理の目的……支障木（枯れ木、半枯れなど倒木の恐れがあるもの、ベッコウタケなどに侵された木、サボテン、ユッカ、アロエなど棘や葉先で怪我をする恐れのあるもの、シュロ・ビワなどの実生木及び、景観上、樹木管理上若しくは利用上、不必要な樹木）を伐採・抜根などの処置を行うことで事故・災害を未然に防ぎ、安全を確保するとともに、景観性の向上、樹林環境の適正化を図ることを目的とする。

イ) 資格者の配置……作業にあたりチェーンソーを使用する場合には「チェーンソー作業員」または「伐木作業員」を配置して、安全かつ適切に作業を行うこと。

### ○ 支障木処理（伐採）【公園・街路樹】

ア) 受託者は他作業（草刈、刈込など）時に支障木を発見した場合は、直ちに監督職員に報告し、対応について協議し決定すること。なお、松の枯木についてはマツノザイセンチュウの可能性があるため、必ず監督職員に報告すること。

イ) 伐採にあたっては、伐採する樹木の樹形、傾き、周辺樹木、施設などに配慮して伐倒方向を決め、ロープ、チルホールなどを使用し、周辺樹木、施設などを損傷しないよう注意すること。

ウ) 伐採する樹木の切り株は、地際より処理し周囲と段差を生じないようにすること。ただし、ルートカラーが大きく地際での処理が困難な場合は、監督職員と協議して対応を決定すること。

エ) 枯木以外の伐採木については切り株より新芽が芽吹かないように、切断面の形成層に除草剤を塗布して、根まで枯らすようにすること。なお、除草剤は土壌への安全性が高い液体アミノ酸系（農薬登録品）を使用すること。

オ) マツノザイセンチュウによって枯死した松については、地面にシートなどの養生を行ってチェーンソーなどによる切屑が残らないようにし、発生材については焼却処分とすること。

### ○ 支障木処理（抜根）【公園・街路樹】

ア) 抜根にあたっては、根切りチェーンソーを用いて縁石など周囲に影響のある根を切断し、周辺樹木、施設、埋設物などを損傷しないよう十分に注意すること。

イ) 抜根によって生じた穴については周辺の土または、植込み地用土などを用いて埋め戻し及び整地を行って段差の無いようにすること。

## ■ 支柱撤去【公園・街路樹】

---

既設の支柱について、本来機能を果たしていないものについて安全性及び、美観の確保のために撤去を行うもの。

ア) 他の作業中及び巡回中に、壊れて危険な支柱や腐食した支柱など、明らかに効果の無いもの並びに、樹木に食い込んでいる支柱を発見した時は監督職員に連絡し、対応について協議を行うこと。ただし、ささくれや釘などにより公園利用者

に危険な場合は直ちに撤去を行い、監督職員に報告すること。

イ) 原則として樹木を損傷しない様に注意しながら引き抜くこと。ただし、支柱に根が食い込んでいる場合は地際で切断すること。

ウ) 樹木に棕櫚縄・幹巻材などが残っている場合は合わせて取り除くこと。

エ) 支柱が樹木の幹及び枝を傷めている場合は、損傷部に癒合剤を塗布して樹木の養生を行うこと。

オ) 撤去によって生じた穴については、周辺の土を用いて埋め戻しを行い段差の無いようにすること。

## ■ 灌水【公園・街路樹】

公園緑地などの樹木・草花について良好な生育を維持するために行う。

ア) 夏期など乾燥の続いた時や新植樹木・草花が活着するまでの期間及び、作業中に樹木の萎縮状態が少しでも見られた時は直ちに監督職員に報告し灌水について協議を行うこと。

イ) 原則として早朝若しくは夕方に、枝葉に直接かからないよう注意しながら根元の土に十分な水を与えること。

ウ) 地表面が乾燥して給水量が足りない時は、植物に水を供給することを念頭におき、時間を置いて再度灌水を行い十分な水を与えること。

エ) 灌水によって表土の乱れや道路を汚さないようにし、通行人や通行車両、付近住民に迷惑をかけないように注意すること。

オ) 公園内の灌水については公園内の水道施設を利用することができるものとする。

カ) 生垣及び連続した中低木などは「寄植」とし、求積は投影面積とすること。

・中低木・草花 標準灌水量 1 m<sup>2</sup>当たり

種 別	寄植・花壇
灌水量 (ℓ)	20

## ■ 病虫害防除

### <共通事項>

ア) 目的……病気や害虫により樹木が著しく損傷を受けたり、美観が損なわれたりする前に適切な措置を講じ、病虫害による被害を最小限にすることを目的に行う。

イ) 害虫については、原則として剪定防除を第 1 に優先し、薬剤散布は、害虫が樹木全体に拡散して剪定防除では対応できない場合に行うこと。

ウ) 受託者は他作業（草刈、刈込など）時に病虫害の発生を発見した場合は、直ちに監督職員に報告し対応について協議を行うこと。

### ○ 薬剤散布【公園・街路樹】

ア) 薬剤散布の適用条件

・バラについては、病虫害の発生を防ぐために必要最小限度の「殺虫剤」「殺菌剤」の散布を行うこと。

- ・花苗については散布範囲を必要最小限度とし、対象病虫害の発生しない花以外への散布は行わないこと。

#### イ) 散布日時

- ・散布日時については監督職員と十分に協議し決定すること。
- ・薬剤散布は、無風または風の弱いときに行うなど、近隣に影響が少ない天候の日や時間帯を選ぶとともに、風向き、ノズルの向きなどに注意すること。  
特に田や畑近辺での散布については、作物のポジティブリスト制度（食品衛生法に基づく残留基準値が設定されていない農薬などが一定量以上含まれる食品の販売などを原則禁止する制度）があるため、必ずドリフト低減措置を行って周辺作物への影響防止対策を徹底すること。
- ・雨上がりの幹肌が濡れた状態及び、散布後の降雨の影響で薬剤が流れないように、十分な乾燥時間が取れない場合は散布を延期すること。

#### ウ) 資格者の配置

- ・薬剤散布は、「千葉県農薬管理指導士」の適切な指導管理の下行うこと。

#### エ) 薬剤散布の仕様・注意点

- ・農薬取締法に基づいて登録された当該防除対象物などに適用のある農薬を、ラベルに記載されている使用方法（使用回数、使用量、使用濃度など）及び使用上の注意事項を守って行うこと。
- ・病虫害の被害状況を良く把握し、薬剤には必ず展着剤を混合して残存効果期間を延ばすとともに、ドリフト低減措置を記載した散布計画書を提出して監督職員の承諾を得てから着工すること。
- ・薬剤散布は、樹幹、樹枝、枝葉の表裏をむらなく行うこと。
- ・使用農薬は汎用性のある非有機リン系農薬（薬剤散布A）を使用し、害虫に耐性がつかないよう農薬の種類を変更すること。（同一種類の継続はおおむね5年程度とすること）
- ・チョウ、ガの幼虫駆除に特定する場合は、薬剤散布Bを使用し使用農薬は「フルベンジアミド水和剤」を使用すること。
- ・薬剤の空容器については、適正な処分をすること。
- ・散布後は、落下してきた害虫の清掃を行い、害虫の死骸による第三者への不快感を与えないようにすること。

#### オ) 周辺住民への配慮

- ・受託者は、周辺住民に対して事前に農薬の目的、散布日時、使用農薬の種類などについて「看板」及び「チラシ」などにて十分周知するとともに、散布作業時には、「立て看板」の表示などにより住民が立ち入らないよう最大限の配慮を行うこと。
- ・散布後の一定期間（おおむね1週間程度）、散布と薬剤などについての周知を行うこと。

#### カ) 散布後について

- ・散布完了日から2週間以内に害虫などが確認された場合には、受託者の責任において再度薬剤散布を行うこと。



キ) 作業記録

- ・受託者は、農薬を使用した年月日、場所及び対象植物など、使用した農薬の種類または名称ならびに、使用した農薬の単位面積あたりの使用量及び希釈倍率を記載した農薬使用記録簿を作成し、一定期間（3年間）保管すること。

・主な害虫及び樹種

種 類	発生しやすい樹種	発見のポイント
チャドクガ	ツバキ、サザンカ類 (4～9月頃)	・葉表に整然と並んでいる。
モンクロシャチホコ	サクラ、ウメなどバラ科植物 (8～10月頃)	・葉に並んで群生するので、よく観察する。
イラガ	サクラ、シラカシ、カエデ、ベニカナメモチなど (4～9月頃)	・集団で葉裏に寄生し食害するため、葉が透かし状になる。 ・地面に黒い虫糞が無数に落ちている。
アメリカシロヒトリ	サクラ、ハナミズキ、プラタナス、モミジバフウ、ウメなど (5～10月頃)	・葉を糸でつづり合わせた巣網を作る。 ・葉脈を残して食害するので、葉が透かし状になる。
マツカレハ	クロマツ、アカマツ、ヒマラヤスギ、モミなど (5、9月頃)	・集団で新芽を食害するため、被害部分が塊状になる。 ・枝の先に茶灰色の繭を作る。

・高木標準薬剤散布量

100本当たり

幹 周 (cm)	60未満	60～119	120～179	180以上
散布量 (ℓ)	350	770	1220	1670

・中低木標準薬剤散布量

100本当たり

樹 高 (m)	0.6未満	0.6 ～ 1.5未満	1.5 ～ 3未満
散布量 (ℓ)	100	150	220

・中低木標準薬剤散布量（寄植） 100㎡当たり

樹 高 (m)	1未満	1以上
散布量 (ℓ)	100	150

・生垣標準薬剤散布量 100m 当たり

散布量 (ℓ)	330
---------	-----

## ○ 剪定防除【公園・街路樹】

- ア) 受託者は他作業（草刈、刈込など）時に害虫の初期発生（巣網または拡散が少ない）を発見した場合は、直ちに監督職員に報告し対応について協議を行うこと。
- イ) 受託者は対象樹木を良く観察し、害虫の発生している枝をすべて、根元から剪定を行って害虫の捕獲を行い、取り残しの無いようにすること。
- ウ) 剪定防除完了後 1 週間以内に巣網の取り残しが確認された場合には、受託者の責任において再度剪定防除を行うこと。
- エ) 剪定枝の清掃は入念に行い、害虫の取り残しの無いようにすること。また、剪定枝については処分場による焼却処分などを行って害虫の拡散を防ぐこと。

## ○ 樹幹注入【街路樹】

- ア) 対象樹木については監督職員に確認すること。
- イ) 注入日時については監督職員と十分に協議し決定すること。なお、穿孔箇所には雨水が入らないよう、雨天の時は行わないこと。
- ウ) 樹幹注入は、「千葉県農薬管理指導士」の適切な指導管理の下行うこと。
- エ) 樹幹注入は、アメリカシロヒトリの幼虫が発生し始める 6 月上旬までに注入作業を完了させること。
- オ) 原則として、主剤はジノテフラン液剤を使用するとともに、注入計画書を提出して監督職員の承諾を得てから着工すること。
- カ) 穿孔間隔が均等になるように注意しながら、ドリルを使用して必要最小数の径・深さの穴を開けること。また、傷や節のある個所の穿孔は避けること。
- キ) 穿孔の数は、専用容器等を用い最少となるようにする。2 か所以上の穴をあけるときには、幹回りに均等に穴をあけ、高さを変えた千鳥打ちになるように施工すること。
- ク) 過年度の穿孔箇所が確認できるときには、15 cm 以上間隔を取り、垂直方向は避け、その箇所よりも高い位置で施工すること。
- ケ) 樹幹注入終了後、癒合剤を用いて穴を塞ぎ樹木の養生を行うこと。
- コ) 樹幹注入剤の空容器については、適正な処分をすること。
- サ) 受託者は、注入剤を使用した年月日、場所及び対象植物など、使用した注入剤の種類または名称ならびに使用量を農薬使用記録簿に記載し、一定期間（3 年間）保管すること。

標準樹幹注入量（参考、実際の注入量は各メーカーの規定による。） 1 本当たり

幹 周 (cm)	90～119	120～149
注入量 (ml)	48	60

## ■ 草刈

### < 共通事項 >

#### ア) 目的と工法

- ・ 草刈りは、公園緑地及び街路樹の美観を維持、または利用性の向上、防犯・防

災、及び草地環境の維持保全のために、環境に合わせた工法で行うこと。

イ) 作業後について

- ・作業完了後 1 週間以内の確認時に、明らかな刈むら及び刈残しが見られた場合には、受託者の責任において再度行うこと。

ウ) 廃棄物の処理について

- ・除草による発生材は一般廃棄物とし、適切に処理した旨を示した伝票を提出しなければならない。
- ・作業範囲内の廃棄物（塵芥）については収集しやすいところに集積し、監督職員に連絡すること。

○ 抜根除草【公園・街路樹】

ア) 除草の適用……植栽樹木の密度が高く、草刈機械の使用が不適当な場所や低木類を寄せ植えしてある場所などで、人力にて草の根まで除去する作業を抜根除草と言う。

イ) 実施時期、実施範囲など

- ・実施回数……5 回/年を想定している。
- ・実施時期……1 回目は 4 月下旬、2 回目は 6 月上旬、3 回目は 7 月下旬、4 回目は 9 月上旬、5 回目は 11 月上旬を想定しており、本業務について 1 回目（4 月下旬）の作業は別途委託とし、2 回目以降を対象とする。
- ・具体的な実施に当たっては、実施時期、実施範囲などについて監督職員と十分に協議して決定し、一年を通して良好な景観を維持すること。

ウ) 除草の仕様・注意点

- ・除草器具などを用い、既存植物を傷めないよう雑草を根より抜き取ること。
- ・フェンスや樹木に絡まっているつる性植物もすべて根より抜き取ること。
- ・フラワータワーの雑草については、花鉢を崩さないよう注意しながら、根より抜き取ること。
- ・防草シート部の雑草については、除草後にシートが浮き上がらないよう注意すること
- ・除草範囲内について、実生の木がある場合は地際で刈り取るとともに、高木の高さ 2m 以下の胴吹き・ヤゴ及び垂れ下がった枝については除去し、伐採木より枝が伸びている場合も伐採面より除去を行うこと。
- ・除草時に合わせて枯葉及びゴミの清掃を行うこと。なお、清掃費は別途計上せず、除草計上の単価に含めるものとする。
- ・刈草の収集や清掃を行うときは、刈草や塵埃が飛散しないように注意し、第三者及び車両などへ迷惑が掛からないようにすること。

エ) 公園の除草は公園外周側溝との間の雑草も除去するものとする。ただし、求積は公園外周の縁石内側までとする。

オ) 街路樹の除草は植樹柵外周と舗装との間の雑草も除去するものとする。ただし、求積は植樹柵の縁石内側までとする。

## ○ 草刈【街路樹】

### ア) 適切な機械・手法の適用

- ・現場状況に応じ、適切な機械・手法（肩掛式、人力など）を用い作業を行うこと。
- ・樹木周り、施設近辺においてはチップソー・ナイロンコードの使用は厳禁とし、必ず人力による作業を行って樹木及び施設などが損傷しないよう注意すること。なお、肩掛式計上内における「人力除草」による作業費は別途計上せず、肩掛式計上の各単価に含めるものとする。

### イ) 実施時期、実施範囲など

- ・実施回数……5回/年を想定している。
- ・実施時期……1回目は4月下旬、2回目は6月上旬、3回目は7月下旬、4回目は9月上旬、5回目は11月上旬を想定しており、本業務について1回目（4月下旬）の作業は別途委託とし、2回目以降を対象とする。
- ・具体的な実施に当たっては、実施時期、実施範囲などについて監督職員と十分に協議して決定し、一年を通して良好な景観を維持すること。

### ウ) 草刈の仕様・注意点

- ・刈込高（通常1～3cm以下）などは、監督職員と十分に協議し決定すること。
- ・機械を用いて草刈・芝刈を行う場合は、ネットなどによる養生を十分にを行い、第三者及び車両などへの飛石、防塵対策を徹底すること。
- ・草刈時に樹木の幹肌を損傷し樹木が枯損した場合や施設に損傷を与えた場合は、受託者の負担で同など品の補植・補修を行うこと。
- ・刈りむら及び刈り残しのないよう均一に刈込むこと。
- ・フェンスや樹木に絡まっているつる性植物もすべて地際で刈り取ること。
- ・草刈範囲内について、実生の木がある場合は地際で刈り取るとともに、高木の高さ2m以下の胴吹き・ヤゴ及び垂れ下がった枝については除去し、伐採木より枝が伸びている場合も伐採面より除去を行うこと。
- ・草刈に合わせて枯葉及びゴミの清掃を行うこと。なお、清掃費は別途計上せず、草刈計上の単価に含めるものとする。
- ・刈草の収集や清掃を行うときは、刈草や塵埃が飛散しないように注意し、第三者及び車両などへ迷惑が掛からないようにすること。

エ) 公園の草刈は公園外周側溝との間の雑草も除去するものとする。ただし、求積は公園外周の縁石内側までとする。

オ) 植樹柵の植樹ブロック外周と舗装の間の草も刈り取ること。なお、この部分の作業費は別途計上せず、求積は植樹柵の縁石内側までとする。

## ■ 清掃【公園・街路樹】

公園、植込み地などにおいて、機能性及び美観の向上を図るもの。

ア) 清掃は1回/月を基本とし、作業の実施場所は参考数量表（別紙4・5）を参照して、実施時期、実施範囲などについては、監督職員と十分に協議し決定すること。

- イ) 落葉、吸殻、空き缶、ビニールなどのゴミ処理を目的とし、公園の美観を維持すること。
- ウ) 公園清掃によるゴミは公園内のゴミ箱または、公園内の端に収集しやすいように集積し、監督職員に公園名及び集積量の報告をすること。
- エ) 街路樹清掃によるゴミは、近くの公園のゴミ箱または、公園内の端に収集しやすいように集積し、監督職員に公園名及び集積量の報告をすること。
- オ) 基本は「燃やすごみ」「燃やさないごみ」の分別収集とするが、分別方法については監督職員に確認しその指示に従うこと。
- カ) 清掃に必要な用具類、消耗品、ゴミ袋などについては受託者の負担とする。

## 8 添付資料

- ・案内図（公園）・・・・・・・・別紙 1
- ・案内図（街路樹）・・・・・・・・別紙 2
- ・業務内容・予定数量一覧表・・・・・・・・別紙 3
- ・参考数量表 1【公園・広場】・・・・・・・・別紙 4
- ・参考数量表 2【街路樹】・・・・・・・・別紙 5
- ・花壇管理工程表（案）・・・・・・・・別紙 6

## 9 施工体制

草刈及び除草は特別な事情が無い場合、指示日から 4 週間以内に全箇所を完了させるよう人員配置を行うこと。

## 10 提出書類及び成果品関係

### ①提出書類

- ア) 提出書類については、共通仕様書 5 に準拠すること。なお、緊急時の連絡体制に時間経過ごとの「出動可能人員」「出動可能車両」「資機材」を記載すること。
- イ) 原則として提出書類の提出方法については電子納品とし、Word、Excel 又は PDF 形式で作成し、「委託打合せ簿」により CD-R 又は DVD-R にて提出すること。
- ウ) 業務計画書の各種書類には押印マークを表記せず、「社印」「業務責任者」などの押印は不要とする。

### ②成果品関係

- ア) 成果品（完成品）を期ごとに以下の日までに提出すること。

- 1 期（委託期間開始日～ 8 月 31 日まで）：1 期終了後 20 日以内
- 2 期（ 9 月 1 日～ 11 月 30 日まで）：2 期終了後 20 日以内
- 3 期（12 月 1 日～ 委託期間満了日）：委託期間満了日

- イ) 上記提出期限に関わらず出来高数量について監督職員から求めがあった時は、求められた日から 7 日以内に文書にて回答すること。
- ウ) 原則として成果品の提出方法は、「完了届」「業務完了届」「委託打合せ簿」については書面による提出とし、それ以外は電子納品とし CD-R 又は DVD-R にて提出す

ること。

- エ) 原則として電子納品の報告書は A4 縦とし、報告内容は「出来高数量総括表」「出来高集計表（出来高数量総括表の根拠）」「求積図（出来高集計表の根拠）」「各種出来高（出来高集計表の根拠）」「実施工程表」「週間工程表」「作業報告書」「各種伝票の写し」「農薬使用記録簿の写し」「安全教育等記録の写し」「その他当該業務に必要と認めた書類」「作業写真」とする。なお、「作業写真」以外については Word、Excel、または PDF 形式とすること。
- オ) 電子納品の各種報告書には押印マークを表記せず、「社印」「業務責任者」などの押印は不要とする。
- カ) 原則として委託者が受託者に対して公園の基本データを貸与した場合は、出来形（求積図、平面図など）についてはデータの修正を行って、DWG または DXF 形式で作成し、データを CD-R または DVD-R にて提出すること。
- キ) 各作業において、委託者から数量の指示及び提供があった場合は、指示及び提供された数量をもって出来高とし、求積図及び平面図を省略することができるものとする。ただし、委託者から提供された数量が現地と大きく相違がある場合、求積図などを修正し提出すること。
- ク) 鋤取り量は鋤取った厚さに鋤取った面積を乗じたものとする。
- ケ) 表土入れ替え量は入れ替えた面積に厚み（300 mm）を乗じたものとする。
- コ) 各工種において出来高総括表の合計値は、小数点以下を切捨てた整数とすること。（各単価において請求段階で小数点を切捨てること）
- サ) 原則としてデジタル写真撮影とし、「土木工事写真管理基準 国土交通省」に準じて撮影を行うこと。
- シ) 写真撮影に当たっては、カメラの日時を正確に合わせること。
- ス) ファイル作成は「委託場所」ごとに作成すること。

## 11 ボランティア対応

- ア) ボランティア活動による作業を行う場合は、特に安全面に留意すること。
- イ) ボランティア活動が行われる花壇植栽など、作業日時について監督職員と打合せを行って作業日程を決定すること。

## 12 その他

- ア) 受託者が詳細な案内図を求めた場合は、委託者が支給するものとする。

# 1. 第2庁舎



# 2. 桜見公園





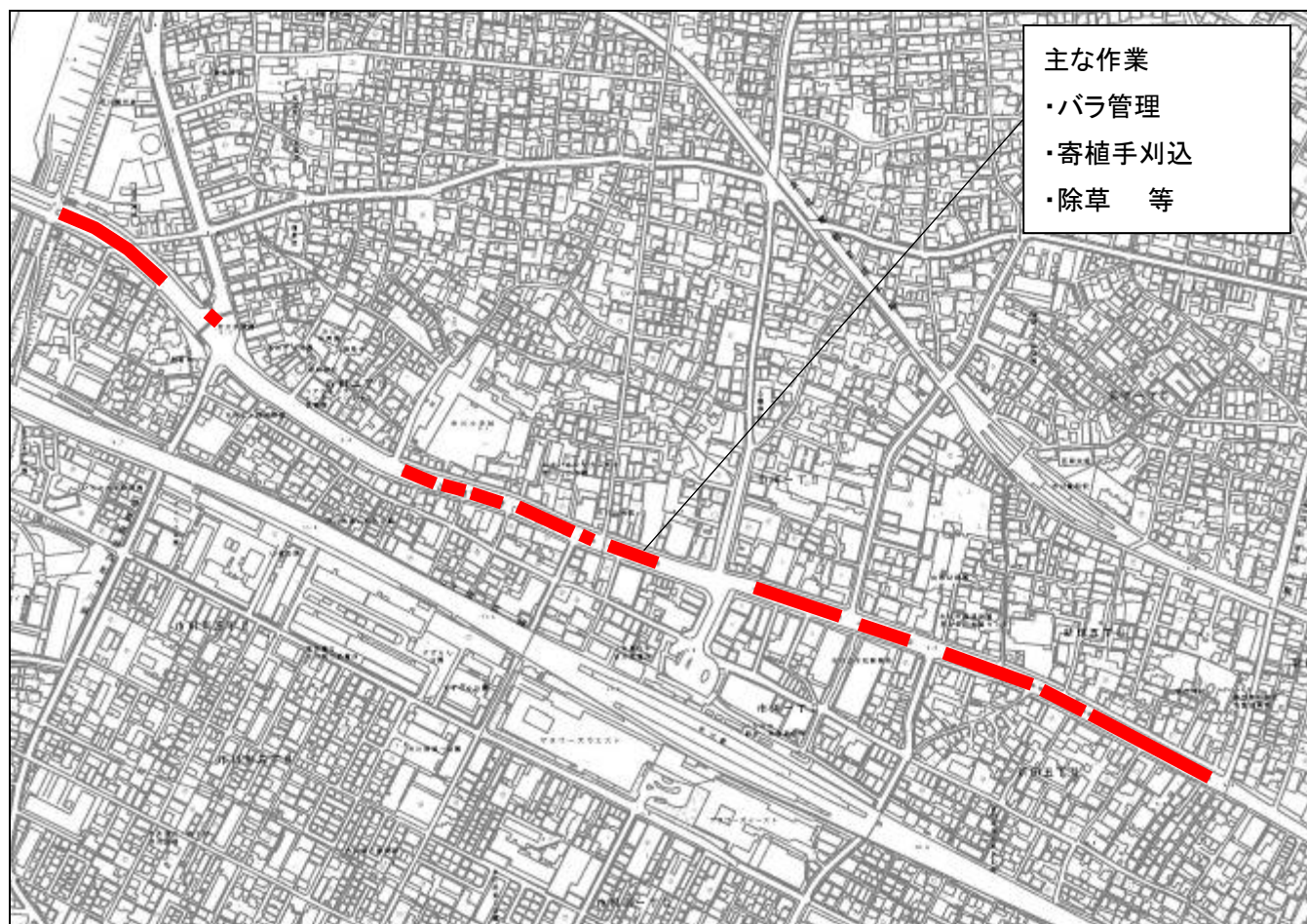
## 3. 南浜公園



## 4. 旧江戸川堤防敷



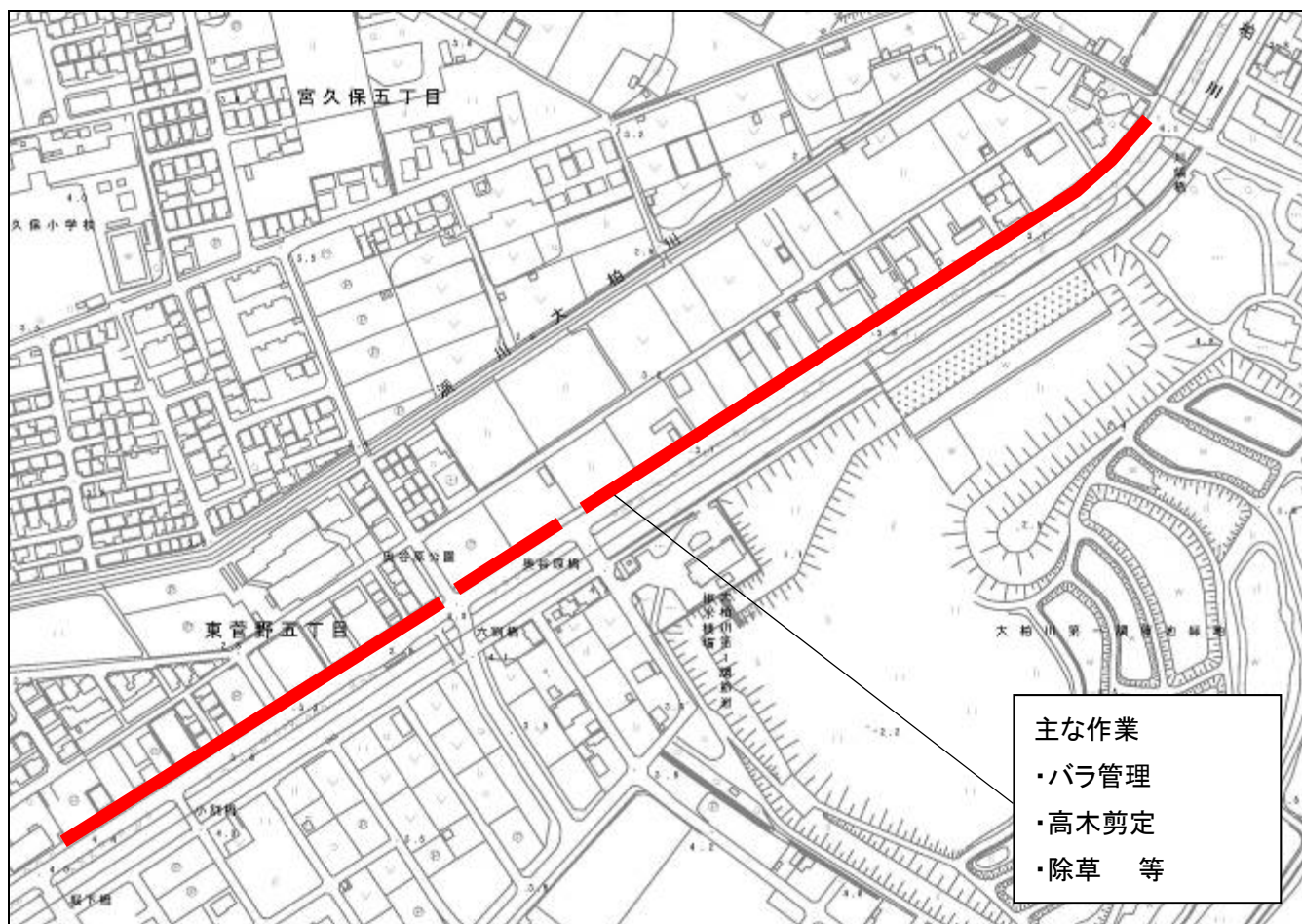




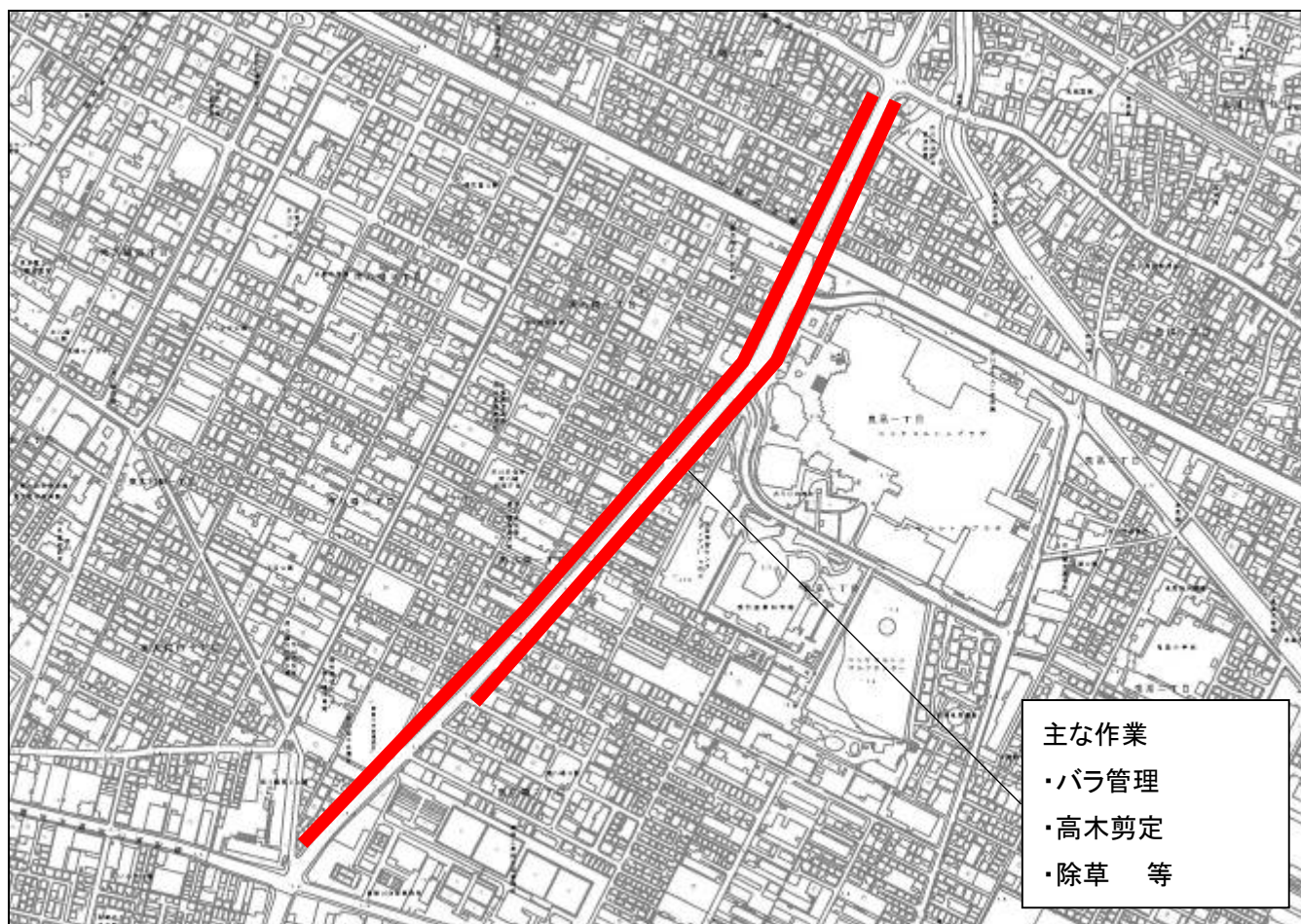
## 6. 菅野 3・6・30







## 8. 都市計画道路 3・4・18







10. 京成鬼越駅前ロータリー





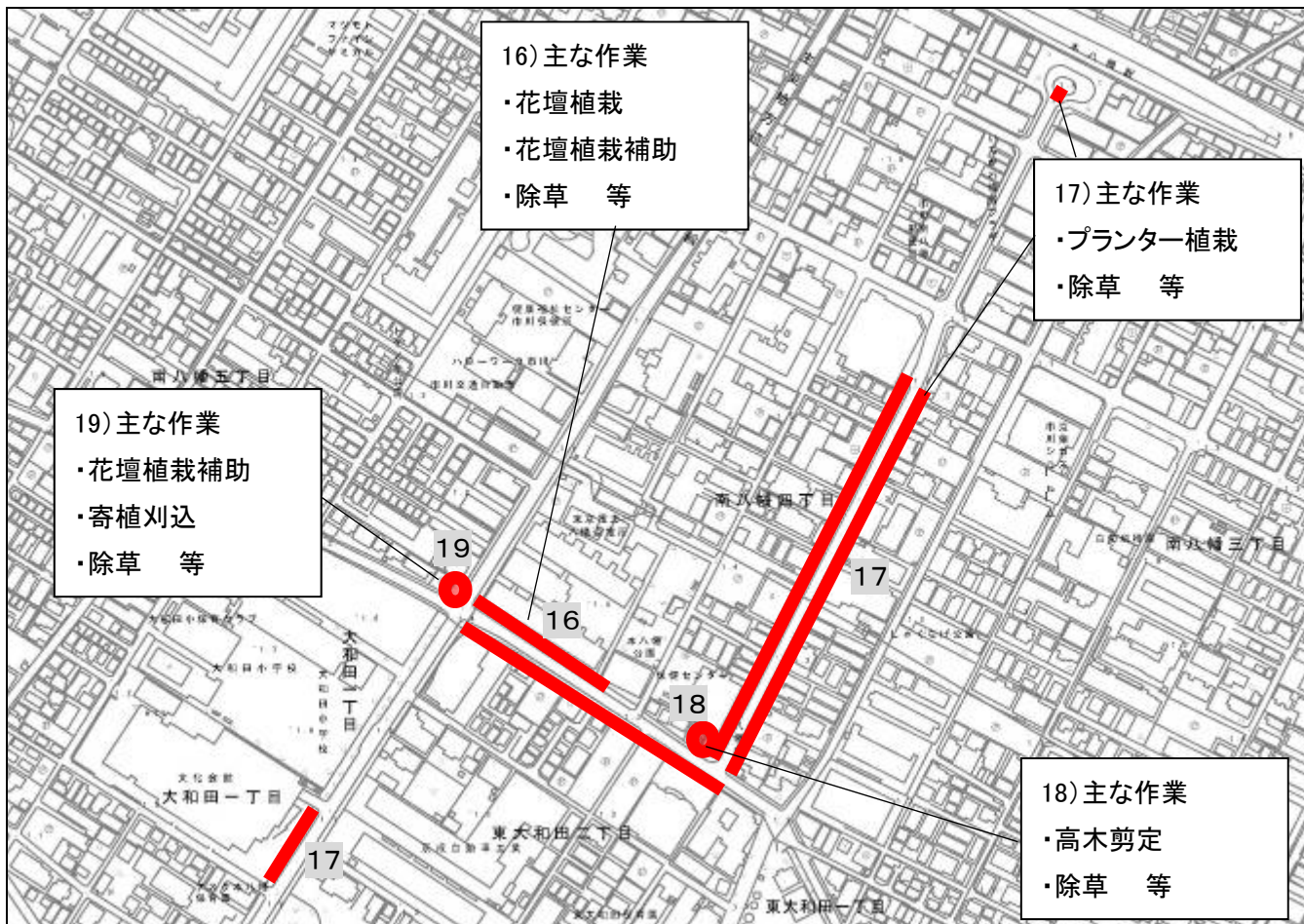
13. 北総線北国分駅前



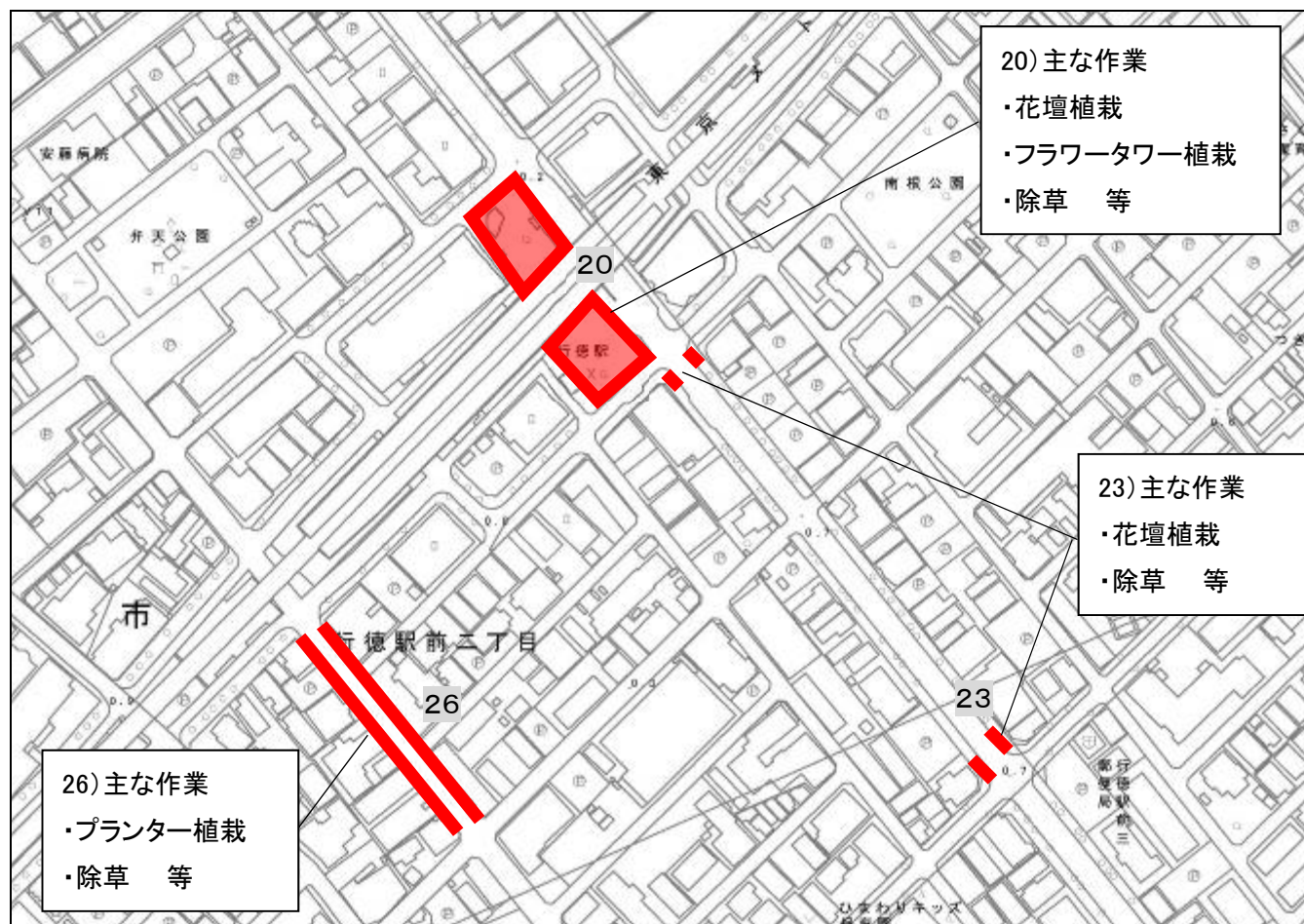




16. 市道 0220 号 17. 南八幡～東大和田プランター 18. 南八幡PP 19. 大和田PP



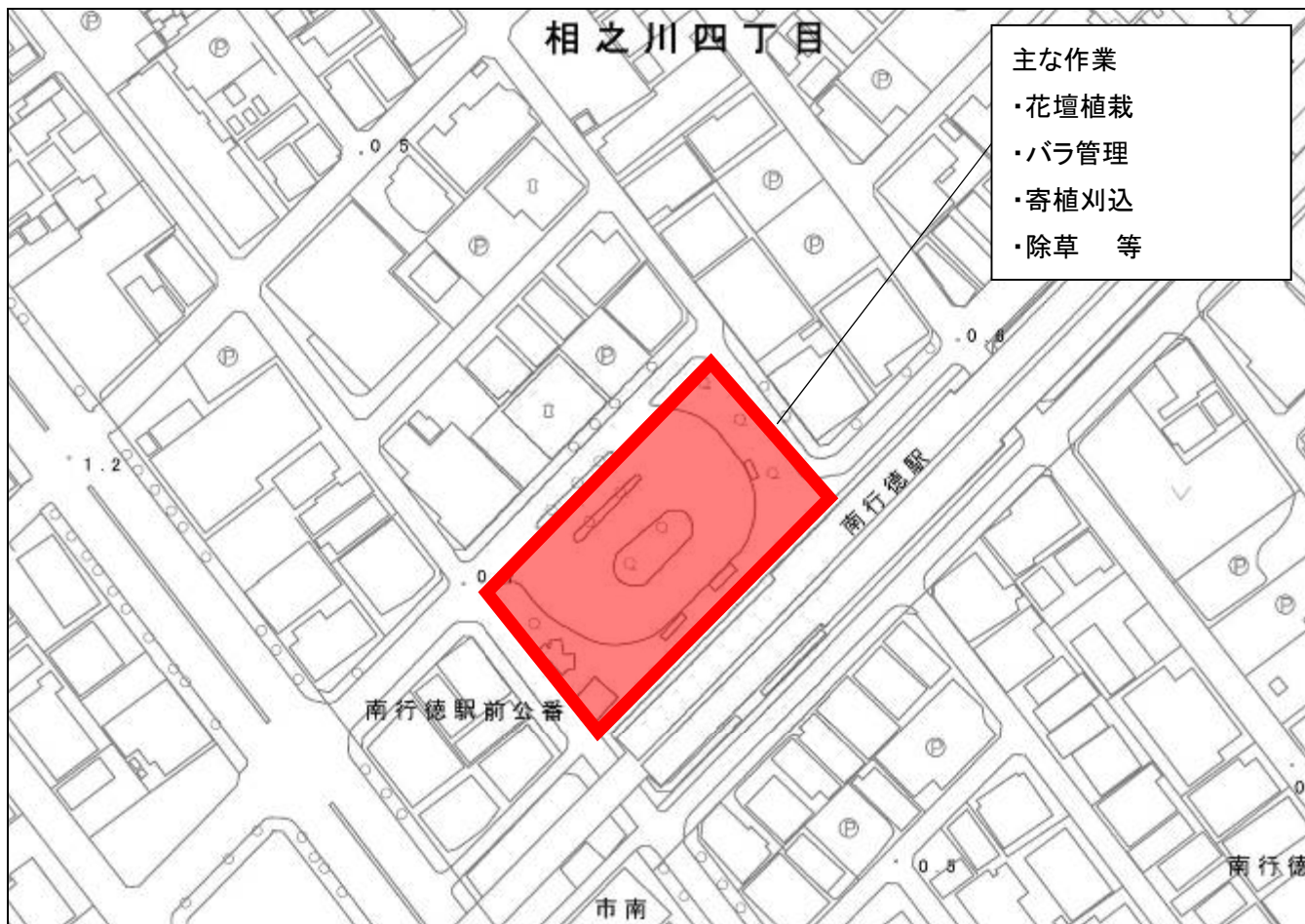




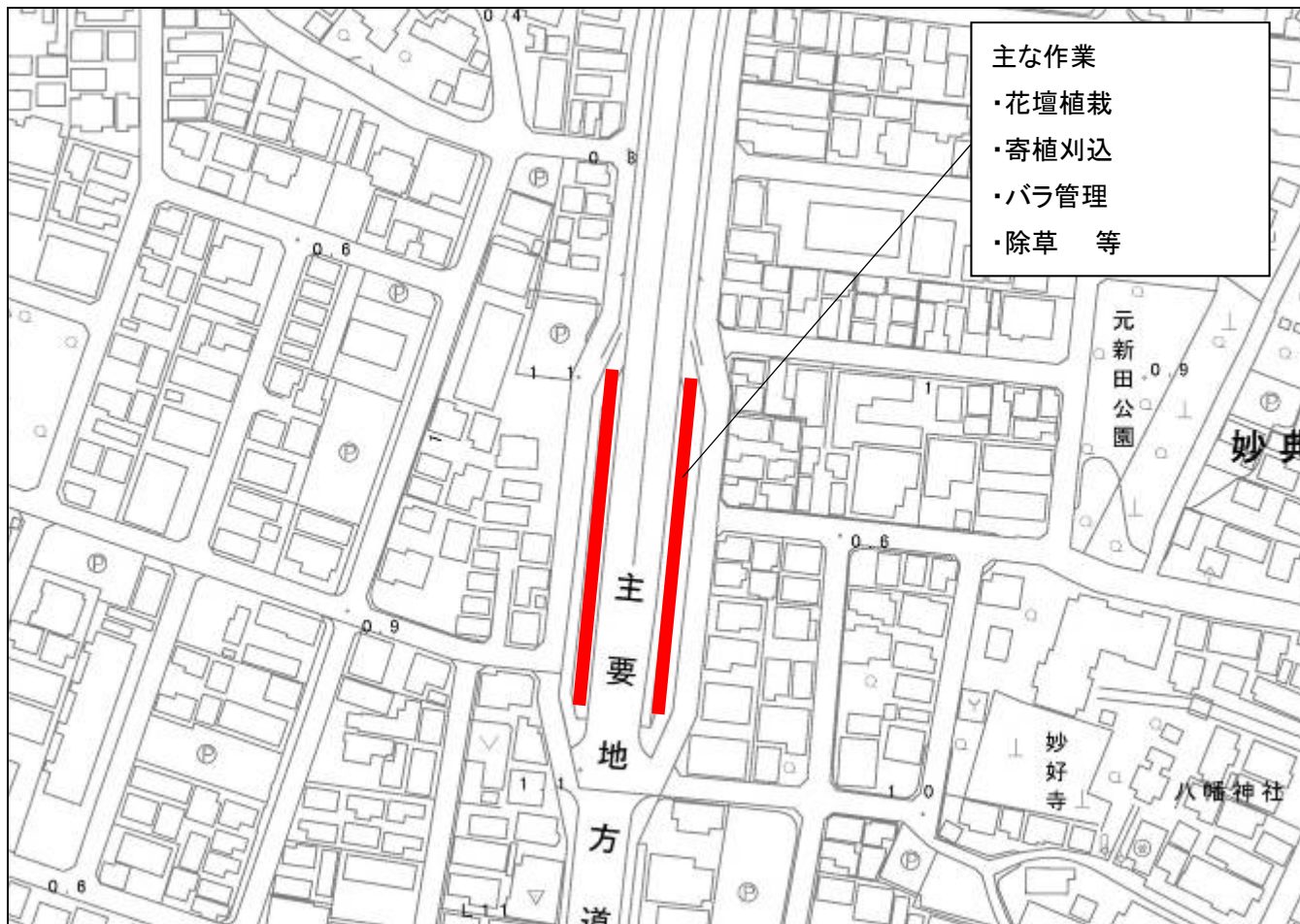
21. 妙典駅前広場







## 24. 新行徳橋







名 称	規 格	単位	予定数量	備 考
<b>【公園】</b>				
<b>花壇管理</b>				
花壇植栽	6月頃、 25株/㎡	㎡	1	
花壇植栽	10月頃、 25株/㎡	㎡	79	
花壇植栽	2月頃、 25株/㎡	㎡	79	
花壇植栽	花苗支給、25～36株/㎡	㎡	1	
花壇植栽	花苗支給、16株/㎡	㎡	1	
花壇植栽	ガザニアンクイーン	鉢	1	
花壇植栽	イワダレソウ	鉢	1	
花壇植栽	ユリオプスデージー	鉢	1	
花壇植栽	シバザクラ	鉢	1	
花壇植栽	アシュガ	鉢	1	
花壇植栽	ガザニア	鉢	1	
花壇植栽	マツバギク	鉢	1	
花壇植栽補助	6月頃、 25株/㎡	㎡	1	
花壇植栽補助	10月頃、 25株/㎡	㎡	14	
花壇植栽補助	2月頃、 25株/㎡	㎡	14	
花壇植栽補助	花苗支給、25～36株/㎡	㎡	1	
花壇植栽補助	花苗支給、16株/㎡	㎡	1	
プランター植栽	6月頃、 25株/㎡	鉢	1	
プランター植栽	10月頃、 25株/㎡	鉢	196	
プランター植栽	2月頃、 25株/㎡	鉢	196	
プランター植栽	花苗支給	鉢	1	
花殻取り	H=0.6未満	㎡	1,076	
花殻取り	プランター	㎡	28	
表土鋤取り	場外敷き均し	㎡	8	
表土入れ替え	畑土：バーク堆肥＝8:2	㎡	3	
防草シート設置	240 グリーン	㎡	3	
<b>剪定</b>				
高木基本剪定	C=30cm未満	本	1	
高木基本剪定	C=30～59cm	本	1	
高木基本剪定	C=60～89cm	本	1	
高木基本剪定	C=90～119cm	本	1	
高木基本剪定	C=120～149cm	本	1	
高木基本剪定	C=150～179cm	本	1	
高木基本剪定	C=180～209cm	本	1	
高木軽剪定	C=30cm未満	本	1	
高木軽剪定	C=30～59cm	本	1	
高木軽剪定	C=60～89cm	本	1	
高木軽剪定	C=90～119cm	本	1	
高木軽剪定	C=120～149cm	本	1	
高木軽剪定	C=150～179cm	本	1	

名 称	規 格	単位	予定数量	備 考
高木軽剪定	C=180～209cm	本	1	
中木剪定		本	5	
寄植機械刈込	H=1.5m未満	m <sup>2</sup>	30	
寄植機械刈込	H=1.5～2.5m未満	m <sup>2</sup>	5	
寄植機械刈込	H=2.5m以上	m <sup>2</sup>	5	
寄植手刈込	H=1.5m未満	m <sup>2</sup>	7	
生垣機械刈込	H=0.75m未満	m	10	
生垣機械刈込	H=0.75～1.5m未満	m	10	
生垣機械刈込	H=1.5～2.5m未満	m	5	
藤棚剪定	夏期	m <sup>2</sup>	12	
藤棚剪定	冬期	m <sup>2</sup>	12	
支障枝剪定	高木、人力	本	5	
支障枝剪定	高木、リフト車	本	5	
<b>マツ剪定</b>				
マツ基本剪定	C=30cm未満	本	1	
マツ基本剪定	C=30～59cm	本	5	
マツ基本剪定	C=60～89cm	本	1	
マツ基本剪定	C=90～119cm	本	1	
マツみどり摘み	C=30cm未満	本	1	
マツみどり摘み	C=30～59cm	本	5	
マツみどり摘み	C=60～89cm	本	1	
マツみどり摘み	C=90～119cm	本	1	
<b>支障木処理</b>				
低木伐採	H=1m未満	本	5	
中木伐採	H=1～2m未満	本	1	
中木伐採	H=2～3m未満	本	1	
低木抜根	H=1m未満	本	5	
中木抜根	H=1～2m未満	本	1	
中木抜根	H=2～3m未満	本	1	
<b>支柱撤去</b>				
丸太1本支柱撤去	生垣含む	本	1	
二脚鳥居撤去	添木無し	本	1	
二脚鳥居撤去	添木有り	本	1	
三脚鳥居撤去		本	1	
八ツ掛支柱撤去		本	1	
<b>灌水</b>				
灌水	2tトラック	m <sup>2</sup>	3,810	
灌水	人力	m <sup>2</sup>	210	
<b>病虫害防除</b>				
薬剤散布A	C=60cm未満	本	5	
薬剤散布A	C=60～119cm	本	5	
薬剤散布A	H=0.6m未満	本	2	
薬剤散布A	H=0.6～1.5m未満	本	2	

名 称	規 格	単位	予定数量	備 考
薬剤散布 A	H=1.5～3m未満	本	2	
薬剤散布 A	H=1m未満	m <sup>2</sup>	10	
薬剤散布 A	生垣	m	5	
薬剤散布 A	プランター	m <sup>2</sup>	1	
薬剤散布 B	C=60cm未満	本	10	
薬剤散布 B	C=60～119cm	本	10	
薬剤散布 B	H=0.6m未満	本	1	
薬剤散布 B	H=0.6～1.5m未満	本	2	
薬剤散布 B	H=1.5～3m未満	本	2	
薬剤散布 B	H=1m未満	m <sup>2</sup>	10	
薬剤散布 B	生垣	m	5	
薬剤散布 B	プランター	m <sup>2</sup>	2	
剪定防除	高木	本	5	
剪定防除	H=1m未満	本	5	
剪定防除	H=1～3m未満	本	5	
剪定防除	中低木	m <sup>2</sup>	10	
施肥				
施肥 A	有機肥料	m <sup>2</sup>	1	
施肥 E	液体肥料	m <sup>2</sup>	1	
草刈				
抜根除草		m <sup>2</sup>	1,444	
抜根除草	防草シート部	m <sup>2</sup>	700	
清掃				
清掃	通常時	a	19	
清掃	落葉時	a	8	
【街路樹】				
花壇管理				
花壇植栽	6月頃、 25株/m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	1	
花壇植栽	10月頃、 25株/m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	299	
花壇植栽	2月頃、 25株/m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	299	
花壇植栽	花苗支給、25株/m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	1	
花壇植栽	ガザニアクイーン	鉢	1	
花壇植栽	イワダレソウ	鉢	1	
花壇植栽	ユリオプスデージー	鉢	1	
花壇植栽	シバザクラ	鉢	1	
花壇植栽	ガザニア	鉢	1	
花壇植栽	マツバギク	鉢	10	
花壇植栽補助	6月頃、 25株/m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	1	
花壇植栽補助	10月頃、 25株/m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	101	
花壇植栽補助	2月頃、 25株/m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	101	
花壇植栽補助	花苗支給、25株/m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	1	
プランター植栽	6月頃	鉢	1	
プランター植栽	10月頃	鉢	961	

名 称	規 格	単位	予定数量	備 考
プランター植栽	2月頃	鉢	961	
プランター植栽	花苗支給	鉢	1	
フラワータワー植栽	6月頃	鉢	1	
フラワータワー植栽	10月頃	鉢	2,156	
フラワータワー植栽	2月頃	鉢	2,156	
フラワータワー植栽	花苗支給	鉢	1	
フラワータワー植栽	ヘデラヘリックス	鉢	2	
花殻取り	H=1m未満	m <sup>2</sup>	1,116	
花殻取り	プランター	m <sup>2</sup>	90	
花殻取り	フラワータワー	基	44	
表土鋤取り	場外敷き均し	m <sup>3</sup>	2	
表土入れ替え	畑土：バーク堆肥=8:2	m <sup>3</sup>	2	
防草シート設置	240 グリーン	m <sup>2</sup>	20	
防草シート設置	目地部 240 グリーン	m	20	
スポンジ交換	フラワータワー	個	2,156	
<b>バラ管理</b>				
夏期剪定	H=0.6m未満	本	3,891	
夏期剪定	H=0.6～1m未満	本	41	
冬期剪定	H=0.6m未満	本	3,891	
冬期剪定	H=0.6～1m未満	本	41	
夏期つるバラ整枝誘引	H=1～2m未満	本	45	
夏期つるバラ整枝誘引	H=2m以上	本	10	
冬期つるバラ整枝誘引	H=1～2m未満	本	45	
冬期つるバラ整枝誘引	H=2m以上	本	10	
バラ花殻取り	H=0.6m未満	m <sup>2</sup>	6,440	
バラ花殻取り	H=0.6～1m未満	m <sup>2</sup>	180	
つるバラ花殻取り	H=1～2m未満	本	180	
つるバラ花殻取り	H=2m以上	本	40	
<b>剪定</b>				
夏期剪定	C=30cm未満	本	1	
夏期剪定	C=30～59cm	本	1	
夏期剪定	C=60～89cm	本	8	
夏期剪定	C=90～119cm	本	1	
夏期剪定	C=120cm以上	本	2	
冬期剪定	C=30cm未満	本	1	
冬期剪定	C=30～59cm	本	51	
冬期剪定	C=60～89cm	本	13	
冬期剪定	C=90～119cm	本	9	
冬期剪定	C=120cm以上	本	2	
低木・中木刈込	H=1～2m未満	本	5	
低木・中木刈込	H=2～3m未満	本	16	
中木夏期剪定	H=2～3m未満	本	4	
中木冬期剪定	H=2～3m未満	本	4	

名 称	規 格	単位	予定数量	備 考
寄植刈込	H=1m未満	m <sup>2</sup>	298	
寄植刈込	H=1m以上	m <sup>2</sup>	398	
寄植手刈込	H=1m未満	m <sup>2</sup>	500	
寄植手刈込	H=1m以上	m <sup>2</sup>	2	
支障枝剪定	高木、人力	本	5	
支障枝剪定	高木、リフト車	本	5	
<b>支障木処理</b>				
低木伐採・抜根	H=1m未満	本	5	
中木伐採・抜根	H=1～2m未満	本	2	
中木伐採・抜根	H=2～3m未満	本	2	
<b>支柱撤去</b>				
丸太 1 本支柱撤去	生垣含む	本	1	
二脚鳥居撤去	添木無し	本	1	
二脚鳥居撤去	添木有り	本	1	
三脚鳥居撤去		本	1	
竹八ツ掛支柱撤去		本	1	
<b>灌水</b>				
灌水	プランター	m <sup>2</sup>	330	
灌水	散水車	m <sup>2</sup>	36, 390	
<b>病虫害防除</b>				
薬剤散布 A	C=60cm未満	本	5	
薬剤散布 A	C=60cm以上	本	5	
薬剤散布 A	C=60cm未満、夜間	本	5	
薬剤散布 A	C=60cm以上、夜間	本	5	
薬剤散布 A	H=0. 6m未満	本	25	
薬剤散布 A	H=0. 6～1m未満	本	115	
薬剤散布 A	H=1～2m未満	本	230	
薬剤散布 A	H=2～3m未満	本	50	
薬剤散布 A	H=1m未満	m <sup>2</sup>	8, 030	
薬剤散布 A	プランター	m <sup>2</sup>	4	
薬剤散布 A	フラワータワー	基	11	
薬剤散布 B	C=60cm未満	本	5	
薬剤散布 B	C=60cm以上	本	5	
薬剤散布 B	C=60cm未満、夜間	本	5	
薬剤散布 B	C=60cm以上、夜間	本	5	
薬剤散布 B	H=0. 6m未満	本	5	
薬剤散布 B	H=0. 6～1m未満	本	5	
薬剤散布 B	H=1～2m未満	本	5	
薬剤散布 B	H=2～3m未満	本	5	
薬剤散布 B	H=1m未満	m <sup>2</sup>	5	
薬剤散布 B	プランター	m <sup>2</sup>	5	
薬剤散布 B	フラワータワー	基	5	
樹幹注入	C=90～119cm	本	1	

名 称	規 格	単位	予定数量	備 考
樹幹注入	C=120～149cm	本	2	
剪定防除	高木	本	5	
剪定防除	H=1m未満	本	5	
剪定防除	H=1～3m未満	本	5	
剪定防除	中低木	m <sup>2</sup>	30	
<b>施肥</b>				
施肥 A	有機肥料	m <sup>2</sup>	243	
施肥 E	液体肥料	m <sup>2</sup>	1,615	
<b>草刈</b>				
抜根除草		m <sup>2</sup>	7,920	
抜根除草	プランター	m <sup>2</sup>	88	
抜根除草	フラワータワー	基	44	
抜根除草	防草シート部	m <sup>2</sup>	8,960	
草刈	肩掛式	m <sup>2</sup>	2,504	
<b>清掃</b>				
清掃	通常時	a	266	
清掃	落葉時	a	114	

※本委託は単価契約のため、設計書の数量については目安とし、監督職員との協議によって行った実績作業数量を清算数量とする。

※植栽以外の高木の規格は高さにかかわらず、幹回りによって決定するものとする。

※各作業において、対象樹木、作業箇所などについては、監督職員の指示若しくは監督職員と立ち会って決定する。

参考数量表1【公園・広場】

別紙4

名 称	規 格	単位	第二庁舎	桜見公園	南浜公園	旧江戸川堤防敷	1 回 当 り	予 定 回 数	合 計
【公園】									
花壇管理									
花壇植栽	6月頃、 25株/㎡	㎡					1	1	1
花壇植栽	10月頃、 25株/㎡	㎡			79		79	1	79
花壇植栽	2月頃、 25株/㎡	㎡			79		79	1	79
花壇植栽	花苗支給、25～36株/㎡	㎡					1	1	1
花壇植栽	花苗支給、16株/㎡	㎡					1	1	1
花壇植栽	ガザニアクィーン	鉢					1	1	1
花壇植栽	イワダレソウ	鉢					1	1	1
花壇植栽	ユリオプスデージー	鉢					1	1	1
花壇植栽	シバザクラ	鉢					1	1	1
花壇植栽	アシュガ	鉢					1	1	1
花壇植栽	ガザニア	鉢					1	1	1
花壇植栽	マツバギク	鉢					1	1	1
花壇植栽補助	6月頃、 25株/㎡	㎡					1	1	1
花壇植栽補助	10月頃、 25株/㎡	㎡		14			14	1	14
花壇植栽補助	2月頃、 25株/㎡	㎡		14			14	1	14

参考数量表1【公園・広場】

別紙4

名 称	規 格	単位	第二庁舎	桜見公園	南浜公園	旧江戸川堤防敷	1 回 当 り	予 定 回 数	合 計
花壇植栽補助	花苗支給、25～36株/㎡	㎡					1	1	1
花壇植栽補助	花苗支給、16株/㎡	㎡					1	1	1
プランター植栽	6月頃	鉢					1	1	1
プランター植栽	10月頃	鉢	196				196	1	196
プランター植栽	2月頃	鉢	196				196	1	196
プランター植栽	花苗支給	鉢					1	1	1
花殻取り	H=0.6m未満	㎡		14	79	176	269	4	1076
花殻取り	プランター	㎡	7				7	4	28
表土鋤取り	場外敷き均し	㎡			8		8	1	8
表土入れ替え	畑土：バーク堆肥＝8：2	㎡					3	1	3
防草シート設置	240 グリーン	㎡					3	1	3
剪定									
高木基本剪定	C=30cm未満	本					1	1	1
高木基本剪定	C=30～59cm	本					1	1	1
高木基本剪定	C=60～89cm	本					1	1	1
高木基本剪定	C=90～119cm	本					1	1	1
高木基本剪定	C=120～149cm	本					1	1	1



名 称	規 格	単位	第二庁舎	桜見公園	南浜公園	旧江戸川堤防敷	1回当り	予定回数	合 計
高木基本剪定	C=150～179cm	本					1	1	1
高木基本剪定	C=180～209cm	本					1	1	1
高木軽剪定	C=30cm未満	本					1	1	1
高木軽剪定	C=30～59cm	本					1	1	1
高木軽剪定	C=60～89cm	本					1	1	1
高木軽剪定	C=90～119cm	本					1	1	1
高木軽剪定	C=120～149cm	本					1	1	1
高木軽剪定	C=150～179cm	本					1	1	1
高木軽剪定	C=180～209cm	本					1	1	1
中木剪定		本					5	1	5
寄植機械刈込	H=1.5m未満	m <sup>2</sup>		30			30	1	30
寄植機械刈込	H=1.5～2.5m未満	m <sup>2</sup>					5	1	5
寄植機械刈込	H=2.5m以上	m <sup>2</sup>					5	1	5
寄植手刈込	H=1.5m未満	m <sup>2</sup>		7			7	1	7
生垣機械刈込	H=0.75m未満	m					10	1	10
生垣機械刈込	H=0.75～1.5m未満	m					10	1	10
生垣機械刈込	H=1.5～2.5m未満	m					5	1	5

名 称	規 格	単位	第二庁舎	桜見公園	南浜公園	旧江戸川堤防敷	1 回 当 り	予 定 回 数	合 計
藤棚剪定	夏期	m <sup>2</sup>		12			12	1	12
藤棚剪定	冬期	m <sup>2</sup>		12			12	1	12
支障枝剪定	高木、人力	本					5	1	5
支障枝剪定	高木、リフト車	本					5	1	5
マツ剪定									
マツ基本剪定	C=30cm未満	本					1	1	1
マツ基本剪定	C=30～59cm	本					5	1	5
マツ基本剪定	C=60～89cm	本					1	1	1
マツ基本剪定	C=90～119cm	本					1	1	1
マツみどり摘み	C=30cm未満	本					1	1	1
マツみどり摘み	C=30～59cm	本					5	1	5
マツみどり摘み	C=60～89cm	本					1	1	1
マツみどり摘み	C=90～119cm	本					1	1	1
支障木処理									
低木伐採	H=1m未満	本					5	1	5
中木伐採	H=1～2m未満	本					1	1	1
中木伐採	H=2～3m未満	本					1	1	1

名 称	規 格	単位	第二庁舎	桜見公園	南浜公園	旧江戸川堤防敷	1 回 当 り	予 定 回 数	合 計
低木抜根	H=1m未満	本					5	1	5
中木抜根	H=1～2m未満	本					1	1	1
中木抜根	H=2～3m未満	本					1	1	1
支柱撤去									
丸太1本支柱撤去	生垣含む	本					1	1	1
二脚鳥居撤去	添木無し	本					1	1	1
二脚鳥居撤去	添木有り	本					1	1	1
三脚鳥居撤去		本					1	1	1
八ツ掛支柱撤去		本					1	1	1
灌水									
灌水	2tトラック	m <sup>2</sup>			79	175	254	15	3810
灌水	人力	m <sup>2</sup>		14			14	15	210
病虫害防除									
薬剤散布A	C=60cm未満	本					5	1	5
薬剤散布A	C=60～119cm	本					5	1	5
薬剤散布A	H=0.6m未満	本					2	1	2
薬剤散布A	H=0.6～1.5m未満	本					2	1	2

名 称	規 格	単位	第二庁舎	桜見公園	南浜公園	旧江戸川堤防敷	1 回 当 り	予 定 回 数	合 計
薬剤散布 A	H=1.5～3m未満	本					2	1	2
薬剤散布 A	H=1m未満	m <sup>2</sup>					10	1	10
薬剤散布 A	生垣	m					5	1	5
薬剤散布 A	プランター	m <sup>2</sup>					1	1	1
薬剤散布 B	C=60cm未満	本					10	1	10
薬剤散布 B	C=60～119cm	本					10	1	10
薬剤散布 B	H=0.6m未満	本					1	1	1
薬剤散布 B	H=0.6～1.5m未満	本					2	1	2
薬剤散布 B	H=1.5～3m未満	本					2	1	2
薬剤散布 B	H=1m未満	m <sup>2</sup>					10	1	10
薬剤散布 B	生垣	m					5	1	5
薬剤散布 B	プランター	m <sup>2</sup>					2	1	2
剪定防除	高木	本					5	1	5
剪定防除	H=1m未満	本					5	1	5
剪定防除	H=1～3m未満	本					5	1	5
剪定防除	中低木	m <sup>2</sup>					10	1	10
施肥									

参考数量表1【公園・広場】

別紙4

名 称	規 格	単位	第二庁舎	桜見公園	南浜公園	旧江戸川堤防敷	1 回 当 り	予 定 回 数	合 計
施肥A	有機肥料	m <sup>2</sup>					1	1	1
施肥E	液体肥料	m <sup>2</sup>					1	1	1
草刈									
抜根除草		m <sup>2</sup>		282	79		361	4	1444
抜根除草	防草シート部	m <sup>2</sup>				175	175	4	700
清掃									
清掃	通常時	a		282			282	7	19
清掃	落葉時	a		282			282	3	8

名 称	規 格	単位	国 道 1 4 号	菅 野 3 ・ 6 ・ 3 0	市 道 0 1 2 6 号	都 市 計 画 道 路 3 ・ 4 ・ 1 8	京 成 八 幡 駅 前 ロ ー タ リ ー	京 成 鬼 越 駅 前 ロ ー タ リ ー	J R 市 川 駅 南 口 歩 道 橋	J R 市 川 駅 南 口 再 開 発	山 崎 市 川 ビ ル 前	北 総 線 北 国 分 駅 前	J R 本 八 幡 駅 前	市 道 0 1 2 2 号	市 道 0 2 2 0 号	南 八 幡 ・ 東 大 和 田 ブ ラ ン タ ー	南 八 幡 ポ ケ ッ ト バ ー ク	大 和 田 ポ ケ ッ ト バ ー ク	行 徳 駅 前 広 場	妙 典 駅 前 広 場	南 行 徳 駅 前 ロ ー タ リ ー	行 徳 駅 前 通 り	新 行 徳 橋	寺 町 通 り	フ ラ ワ ー ロ ー ド	1 回 当 り	予 定 回 数	合 計	
【街路樹】																													
花壇管理																													
花壇植栽	6月頃、 25株/㎡	㎡																									1	1	1
花壇植栽	10月頃、 25株/㎡	㎡		60			7			27			37		52					59	11	11.5	34.5				299	1	299
花壇植栽	2月頃、 25株/㎡	㎡		60			7			27			37		52					59	11	11.5	34.5				299	1	299
花壇植栽	花苗支給、25株/㎡	㎡																									1	1	1
花壇植栽	ガザニアンクィーン	鉢																									1	1	1
花壇植栽	イワダレソウ	鉢																									1	1	1
花壇植栽	ユリオブスデージー	鉢																									1	1	1
花壇植栽	シバザクラ	鉢																									1	1	1
花壇植栽	ガザニア	鉢																									1	1	1
花壇植栽	マツバギク	鉢																									10	1	10
花壇植栽補助	6月頃、 25株/㎡	㎡																									1	1	1
花壇植栽補助	10月頃、 25株/㎡	㎡		17							4		8	8				8	56								101	1	101
花壇植栽補助	2月頃、 25株/㎡	㎡		17							4		8	8				8	56								101	1	101
花壇植栽補助	花苗支給、25株/㎡	㎡																									1	1	1
プランター植栽	6月頃	鉢																									1	1	1
プランター植栽	10月頃	鉢										54				731										176	961	1	961
プランター植栽	2月頃	鉢										54				731										176	961	1	961
プランター植栽	花苗支給	鉢																									1	1	1
フラワータワー植栽	6月頃	鉢																									1	1	1
フラワータワー植栽	10月頃	鉢																	916	1,240							2,156	1	2156
フラワータワー植栽	2月頃	鉢																	916	1,240							2,156	1	2156
フラワータワー植栽	花苗支給	鉢																									1	1	1
フラワータワー植栽	ヘデラヘリックス	鉢																									2	1	2

参考数量表2【街路樹】

別紙5

名 称	規 格	単位	国 道 1 4 号	菅 野 3 ・ 6 ・ 3 0	市 道 0 1 2 6 号	都 市 計 画 道 路 3 ・ 4 ・ 1 8	京 成 八 幡 駅 前 ロ ー タ リ	京 成 鬼 越 駅 前 ロ ー タ リ	J R 市 川 駅 南 口 歩 道 橋	J R 市 川 駅 南 口 再 開 発	山 崎 市 川 ビ ル 前	北 総 線 北 国 分 駅 前	J R 本 八 幡 駅 前	市 道 0 1 2 2 号	市 道 0 2 2 0 号	南 八 幡 ・ 東 大 和 田 ブ ラ ン タ ー	南 八 幡 ポ ケ ッ ト バ ー ク	大 和 田 ポ ケ ッ ト バ ー ク	行 徳 駅 前 広 場	妙 典 駅 前 広 場	南 行 徳 駅 前 ロ ー タ リ	行 徳 駅 前 通 り	新 行 徳 橋	寺 町 通 り	フ ラ ワ ー ロ ー ド	1 回 当 り	予 定 回 数	合 計	
花殻取り	H=1m未満	m <sup>2</sup>		77			7			27					52					59	11	11.5	34.5			279	4	1116	
花殻取り	プランター	m <sup>2</sup>										1				17										4.5	23	4	90
花殻取り	フラワータワー	基																	5	6							11	4	44
表土鋤取り	場外敷き均し	m <sup>3</sup>																									2	1	2
表土入れ替え	畑土：パーク堆肥=8:2	m <sup>3</sup>																									2	1	2
防草シート設置	240 グリーン	m <sup>2</sup>																									20	1	20
防草シート設置	目地部 240 グリーン	m																									20	1	20
スポンジ交換	フラワータワー	個																	916	1,240							2,156	1	2156
バラ管理																													
夏期剪定	H=0.6m未満	本	1,732		516	1,479	10														82		72				3,891	1	3891
夏期剪定	H=0.6～1m未満	本					41																				41	1	41
冬期剪定	H=0.6m未満	本	1,732		516	1,479	10														82		72				3,891	1	3891
冬期剪定	H=0.6～1m未満	本					41																				41	1	41
夏期つるバラ整枝誘引	H=1～2m未満	本		38			7																				45	1	45
夏期つるバラ整枝誘引	H=2m以上	本				8															2						10	1	10
冬期つるバラ整枝誘引	H=1～2m未満	本		38			7																				45	1	45
冬期つるバラ整枝誘引	H=2m以上	本				8															2						10	1	10
バラ花殻取り	H=0.6m未満	m <sup>2</sup>	578		262	705	4														33		28				1,610	4	6440
バラ花殻取り	H=0.6～1m未満	m <sup>2</sup>					45																				45	4	180
つるバラ花殻取り	H=1～2m未満	本		38			7																				45	4	180
つるバラ花殻取り	H=2m以上	本				8															2						10	4	40
剪定																													
夏期剪定	C=30cm未満	本			1																						1	1	1
夏期剪定	C=30～59cm	本			1																						1	1	1
夏期剪定	C=60～89cm	本													7		1										8	1	8

名 称	規 格	単位	国 道 1 4 号	菅 野 3 ・ 6 ・ 3 0	市 道 0 1 2 6 号	都 市 計 画 道 路 3 ・ 4 ・ 1 8	京 成 八 幡 駅 前 ロ ー タ リ ー	京 成 鬼 越 駅 前 ロ ー タ リ ー	J R 市 川 駅 南 口 歩 道 橋	J R 市 川 駅 南 口 再 開 発	山 崎 市 川 ビ ル 前	北 総 線 北 国 分 駅 前	J R 本 八 幡 駅 前	市 道 0 1 2 2 号	市 道 0 2 2 0 号	南 八 幡 ・ 東 大 和 田 ブ ラ ン タ ー	南 八 幡 ボ ケ ッ ト パ ー ク	大 和 田 ボ ケ ッ ト パ ー ク	行 徳 駅 前 広 場	妙 典 駅 前 広 場	南 行 徳 駅 前 ロ ー タ リ ー	行 徳 駅 前 通 り	新 行 徳 橋	寺 町 通 り	フ ラ ワ ー ロ ー ド	1 回 当 り	予 定 回 数	合 計	
夏期剪定	C=90～119cm	本	1																								1	1	1
夏期剪定	C=120cm以上	本	2																								2	1	2
冬期剪定	C=30cm未満	本												1													1	1	1
冬期剪定	C=30～59cm	本				50								1													51	1	51
冬期剪定	C=60～89cm	本								5			5	3													13	1	13
冬期剪定	C=90～119cm	本	1							1			1	4					2								9	1	9
冬期剪定	C=120cm以上	本	2																								2	1	2
低木・中木刈込	H=1～2m未満	本																						5			5	1	5
低木・中木刈込	H=2～3m未満	本																						16			16	1	16
中木夏期剪定	H=2～3m未満	本																									4	1	4
中木冬期剪定	H=2～3m未満	本																									4	1	4
寄植刈込	H=1m未満	㎡	40						85	86			12				8							67			298	1	298
寄植刈込	H=1m以上	㎡								335								63									398	1	398
寄植手刈込	H=1m未満	㎡	475					14			3			8													500	1	500
寄植手刈込	H=1m以上	㎡																									2	1	2
支障枝剪定	高木、人力	本																									5	1	5
支障枝剪定	高木、リフト車	本																									5	1	5
支障木処理																													
低木伐採・抜根	H=1m未満	本																									5	1	5
中木伐採・抜根	H=1～2m未満	本																									2	1	2
中木伐採・抜根	H=2～3m未満	本																									2	1	2
支柱撤去																													
丸太1本支柱撤去	生垣含む	本																									1	1	1
二脚鳥居撤去	添木無し	本																									1	1	1
二脚鳥居撤去	添木有り	本																									1	1	1



名	称	規	格	単位	国道 14号	菅野 3・6・30	市道 0126号	都市計画道路 3・4・18	京成八幡駅前ロータリー	京成鬼越駅前ロータリー	JR市川駅南口歩道橋	JR市川駅南口再開発	山崎市川ビル前	北総線北国分駅前	JR本八幡駅前	市道 0122号	市道 0220号	南八幡・東大和田プランター	南八幡ポケットパーク	大和田ポケットパーク	行徳駅前広場	妙典駅前広場	南行徳駅前ロータリー	行徳駅前通り	新行徳橋	寺町通り	フラワーロード	1回 当り	予定 回数	合 計
	三脚鳥居撤去			本																								1	1	1
	竹ハツ掛支柱撤去			本																								1	1	1
	灌水																													
	灌水	プランター		m <sup>2</sup>									1					17								4		22	15	330
	灌水	散水車		m <sup>2</sup>	737	77	262	705	64	14		27			45	8	52			12	56	310	11	11.5	34.5			2,426	15	36390
	病虫害防除																													
	薬剤散布A	C=60cm未満		本																								5	1	5
	薬剤散布A	C=60cm以上		本																								5	1	5
	薬剤散布A	C=60cm未満、夜間		本																								5	1	5
	薬剤散布A	C=60cm以上、夜間		本																								5	1	5
	薬剤散布A	H=0.6m未満		本																								5	5	25
	薬剤散布A	H=0.6～1m未満		本					23																			23	5	115
	薬剤散布A	H=1～2m未満		本		38			8																			46	5	230
	薬剤散布A	H=2～3m未満		本				8														2						10	5	50
	薬剤散布A	H=1m未満		m <sup>2</sup>	578		262	705														33		28				1,606	5	8030
	薬剤散布A	プランター		m <sup>2</sup>																						4		4	1	4
	薬剤散布A	フラワータワー		基																5	6							11	1	11
	薬剤散布B	C=60cm未満		本																								5	1	5
	薬剤散布B	C=60cm以上		本																								5	1	5
	薬剤散布B	C=60cm未満、夜間		本																								5	1	5
	薬剤散布B	C=60cm以上、夜間		本																								5	1	5
	薬剤散布B	H=0.6m未満		本																								5	1	5
	薬剤散布B	H=0.6～1m未満		本																								5	1	5
	薬剤散布B	H=1～2m未満		本																								5	1	5
	薬剤散布B	H=2～3m未満		本																								5	1	5

名 称	規 格	単位	国 道 1 4 号	菅 野 3 ・ 6 ・ 3 0	市 道 0 1 2 6 号	都 市 計 画 道 路 3 ・ 4 ・ 1 8	京 成 八 幡 駅 前 ロ ー タ リ ー	京 成 鬼 越 駅 前 ロ ー タ リ ー	J R 市 川 駅 南 口 歩 道 橋	J R 市 川 駅 南 口 再 開 発	山 崎 市 川 ビ ル 前	北 総 線 北 国 分 駅 前	J R 本 八 幡 駅 前	市 道 0 1 2 2 号	市 道 0 2 2 0 号	南 八 幡 ・ 東 大 和 田 ブ ラ ン タ ー	南 八 幡 ボ ケ ッ ト パ ー ク	大 和 田 ボ ケ ッ ト パ ー ク	行 徳 駅 前 広 場	妙 典 駅 前 広 場	南 行 徳 駅 前 ロ ー タ リ ー	行 徳 駅 前 通 り	新 行 徳 橋	寺 町 通 り	フ ラ ワ ー ・ ロ ー ド	1 回 当 り	予 定 回 数	合 計	
薬剤散布 B	H=1m未満	㎡																									5	1	5
薬剤散布 B	プランター	㎡																									5	1	5
薬剤散布 B	フラワータワー	基																									5	1	5
樹幹注入	C=90～119cm	本	1																								1	1	1
樹幹注入	C=120～149cm	本	2																								2	1	2
剪定防除	高木	本																									5	1	5
剪定防除	H=1m未満	本																									5	1	5
剪定防除	H=1～3m未満	本																									5	1	5
剪定防除	中低木	㎡																									30	1	30
施肥																													
施肥 A	有機肥料	㎡		9		34															133	11			56		243	1	243
施肥 E	液体肥料	㎡	578	9	262	705															33		28				1,615	1	1615
草刈																													
抜根除草		㎡	240	111	117	64	64	54	134	351			59	53	52		13	18	56	310	115	11.5	101.5	56			1,980	4	7920
抜根除草	プランター	㎡										1				17									4		22	4	88
抜根除草	フラワータワー	基																	5	6							11	4	44
抜根除草	防草シート部	㎡	1,069		279	707													20	40	25		100				2,240	4	8960
草刈	肩掛式	㎡																					626				626	4	2504
清掃																													
清掃	通常時	a	893	111	200	580	64	54	134	351	6	1	62	53	52		13	18	56	252	50	11.5	784.5	56	6.5	3,808	7	266	
清掃	落葉時	a	893	111	200	580	64	54	134	351	6	1	62	53	52		13	18	56	252	50	11.5	784.5	56	6.5	3,808	3	114	
備 考 (延長)			1290m	350m	700m	1050m								20m	80m	820m						220m	100m	100m	105m				

## 花壇管理工程表（案）

別紙 6

月	作業内容	単位	回数	備考
6	灌水	回	1	
	花殻取り	回	1	
	薬剤散布	回	1	バラだけ
7	抜根除草	回	1	草刈含む
	灌水	回	2	
	薬剤散布	回	1	バラだけ
8	抜根除草	回	1	草刈含む
	灌水	回	2	
9	抜根除草	回	1	草刈含む
	灌水	回	4	
	植替	回	1	
	薬剤散布	回	1	バラだけ
10	抜根除草	回	1	宿根草部、草刈含む
	灌水	回	3	
	花殻取り	回	1	
	施肥A, E	回	1	
	薬剤散布	回	1	バラだけ
11	灌水	回	1	
	花殻取り	回	1	
	薬剤散布	回	1	バラだけ
1	植替	回	1	
2	花殻取り	回	1	
	灌水	回	1	
3	灌水	回	1	
計	抜根除草	回	4	草刈含む
	灌水	回	15	
	植替	回	2	
	花殻取り	回	4	
	施肥A, E	回	1	
	薬剤散布	回	5	バラだけ